



英文開示実施状況調査集計レポート (2022年12月末時点)

株式会社東京証券取引所 上場部

2023年1月17日

- 東京証券取引所では、海外投資家の利便性の向上及び英語による会社情報の開示・提供の一層の促進を図る観点から、2019年11月より上場会社各社の決算情報、適時開示資料、株主総会招集通知などの英文による開示状況に関する調査を内国上場会社を対象に実施し、その回答を一覧にとりまとめ、当取引所ウェブサイトにて公表しております。
- 本資料では、2022年12月31日現在のご回答内容（全市場の89.1%、プライム市場の全社から回答を受領）を基に、内国上場会社の英文開示の実施状況を取りまとめております。なお、上場会社の英文開示の実施状況をより精緻に反映するため、2022年11月から回答フォームを変更し、調査対象の資料すべてについて、英文開示の範囲及びタイミングについて回答いただいております。

調査回答率

	2020年12月	2021年12月	2022年7月	2022年12月
全市場	82.2%	87.9%	87.5%	89.1%
市場区分別				
プライム市場	96.8%	100.0%	100.0%	100.0%
スタンダード市場	70.0%	79.0%	78.8%	82.1%
グロース市場	63.3%	68.0%	65.8%	69.8%
指数区分別				
TOPIX500（大型株・中型株）	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%
TOPIX100（大型株）	99.0%	100.0%	100.0%	100.0%
TOPIX Mid400（中型株）	99.7%	100.0%	100.0%	100.0%
TOPIX Small（小型株）	94.1%	98.6%	98.7%	97.2%
JPX日経400	99.0%	99.3%	99.2%	100.0%

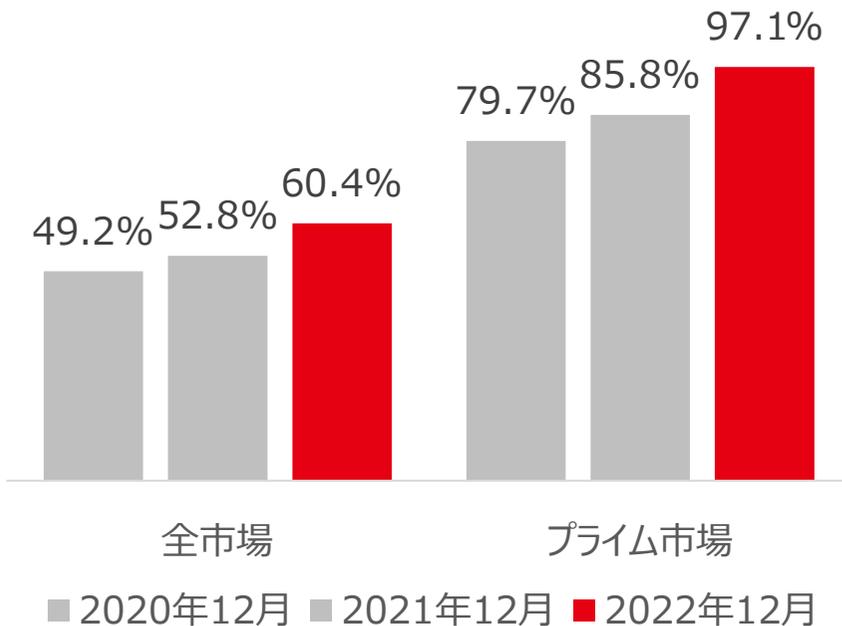
- 注： 1 当取引所ウェブサイト<<https://www.jpx.co.jp/english/equities/listed-co/disclosure-gate/availability/>>にて公表。
- 2 2022年12月31日時点の東証内国上場会社3,799社が対象。TOKYO PRO Market上場会社は除く。以降のスライドも同様。
- 3 調査に未回答の会社は英文開示を実施していないものとして分母に加算して英文開示実施率を算出。
- 4 指数区分別は、JPX日経インデックス400（本資料では「JPX日経400」と表記）及び東証規模別株価指数・TOPIXニューインデックスシリーズの指数区分。
- 5 TOPIX100はTOPIX算出対象のうち、時価総額、流動性の特に高い100銘柄で構成される指数の構成銘柄を意味する。TOPIX500は同様に時価総額、流動性の特に高い500銘柄で構成される指数の構成銘柄を意味する。
- 6 時価総額は発行済み株式数ベースを使用。なお、2021年3月5日公表「英文開示実施状況調査集計レポート（2020年12月末時点）」及び2022年3月17日公表「英文開示実施状況調査集計レポート（2021年12月末時点）」では上場株式数ベースの時価総額を使用していることに留意。
<https://www.jpx.co.jp/equities/listed-co/disclosure-gate/survey-reports/index.html>
- 7 本資料において「適時開示資料（決算短信除く）」は「決算情報を除くその他の適時開示資料」、「招集通知（通知本文・参考書類）」は「株主総会招集通知（通知本文、株主総会参考書類）」、「招集通知（事業報告・計算書類）」は「株主総会招集通知（事業報告、計算書類）」、「CG報告書」は「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」を意味する。
- 8 「プライム市場」、「スタンダード市場」及び「グロース市場」の「2020年12月」及び「2021年12月」のデータは、2022年1月11日時点の上場会社を対象とし、2022年1月11日時点の市場選択結果に基づき集計。

Section 1: 調査結果概要	3
Section 2: 英文開示実施率の推移	7
Section 3: 英文開示範囲	13
Section 4: 英文開示タイミング	20
Section 5: 英文開示タイミングの推移	27
Appendix 1: 市場区分別集計データ	32
Appendix 2: 指数区分別集計データ	35
Appendix 3: 外国人持株比率別集計データ	38

Section 1: 調査結果概要

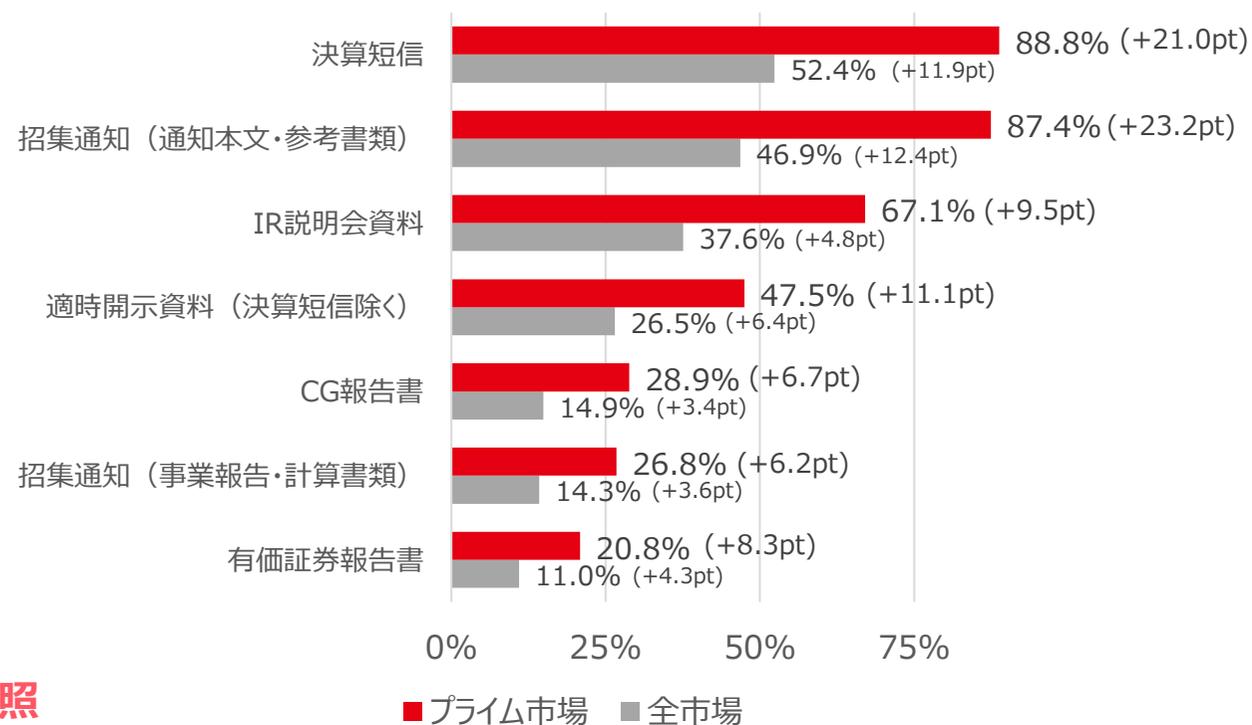
- 英文開示を実施している上場会社の割合は全市場では60.4%（前年末比+7.6ポイント）、プライム市場では97.1%（同+11.3ポイント）となり、プライム市場上場会社を中心に新市場区分への移行を契機として上場会社の取組が進展
- コーポレートガバナンス・コード（補充原則3-1②後段）において、プライム市場上場会社は、開示書類のうち必要とされる情報について、英語での開示・提供を行うべきとされているところ、決算短信、招集通知（通知本文・参考書類）及びIR説明会資料の実施率は、それぞれ88.8%（同+21.0ポイント）、87.4%（同+23.2ポイント）、67.1%（同+9.5ポイント）と上昇
- 適時開示資料（決算短信除く）、CG報告書、招集通知（事業報告・計算書類）、有価証券報告書については、実施率の上昇は見られるものの、プライム市場上場会社においても引き続き半数未満に留まる

英文開示実施率の推移



資料別の英文開示実施率

※（）内は前年末比の増減

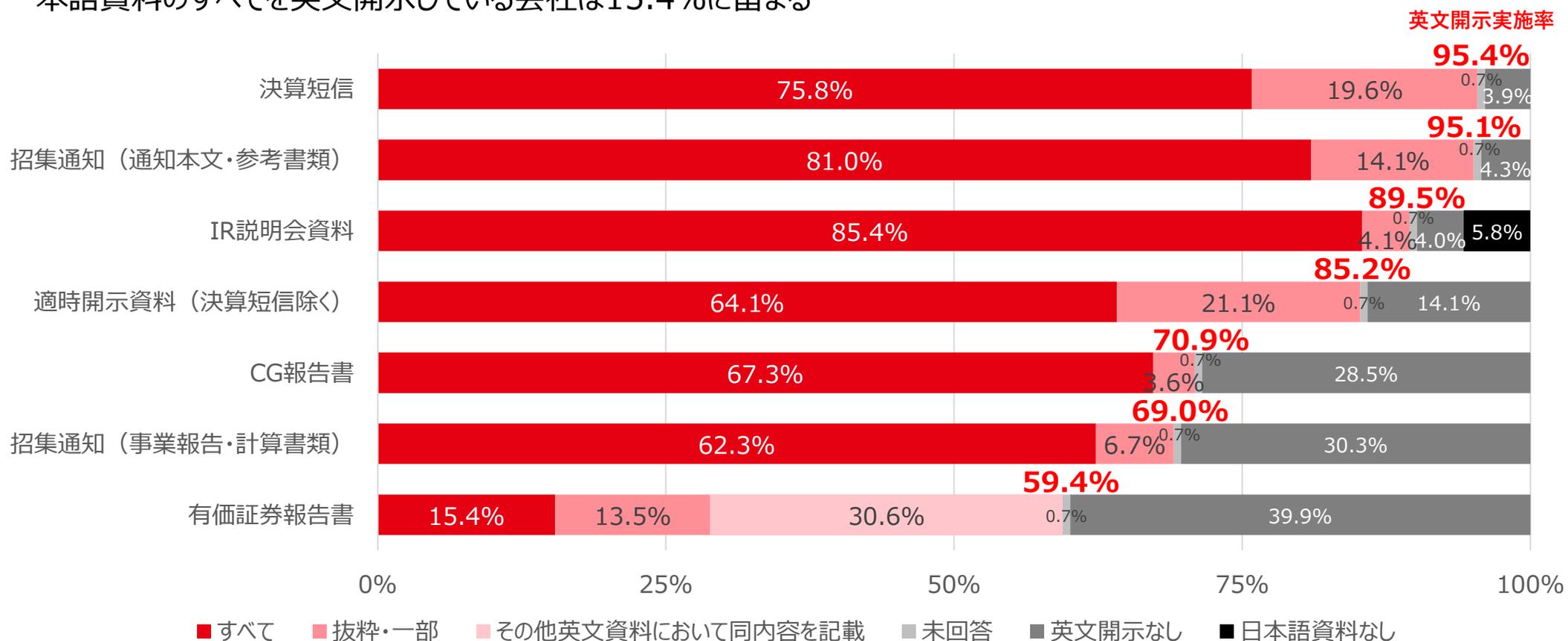


資料別英文開示実施率の推移はSection 2参照

注：「英文開示を実施している上場会社」は、調査対象書類（決算短信、その他の適時開示資料、株主総会招集通知（通知本文）、株主総会招集通知（事業報告）、CG報告書、有価証券報告書、IR説明会資料、及びその他の英文開示資料）のいずれかの資料について英文開示を行っているとは回答した会社。

英文開示範囲（全市場・時価総額ベース）

- 時価総額ベースでは9割超が決算短信、招集通知（通知本文・参考書類）の英文開示を実施
- 日本語資料のすべてを英文開示している割合は、IR説明会資料が85.4%となっているのに対して、決算短信は75.8%に留まる
- 有価証券報告書については、統合報告書等の資料で同内容を記載している会社を含む割合は、過半となっているが、日本語資料のすべてを英文開示している会社は15.4%に留まる



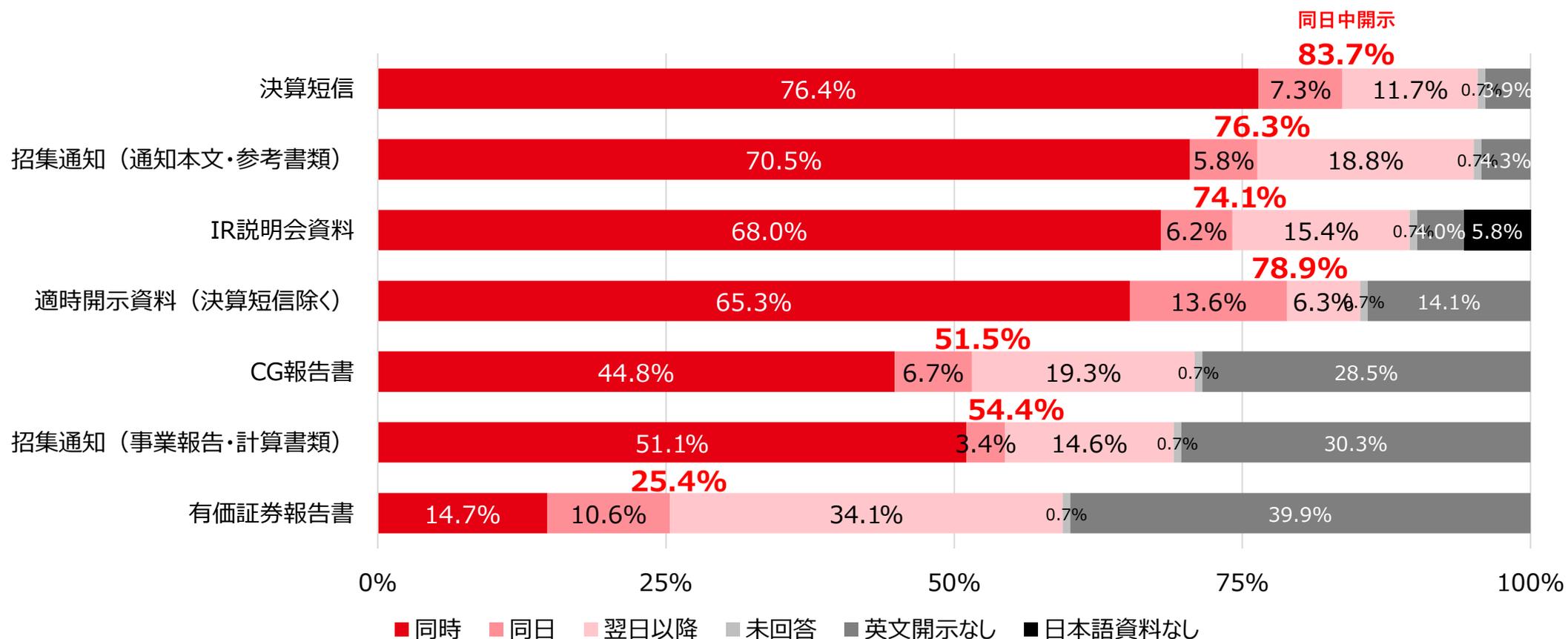
▶ 英文開示範囲に関する分析はSection 3参照

注： 1 時価総額は2022年12月31日時点。以降のスライドも同様。

2 「時価総額ベース」の英文開示実施率は、対象となる市場又は指数区分の上場会社の時価総額の合計に占める英文開示を実施していると回答した上場会社の時価総額の合計の割合。以降のスライドも同様。

英文開示タイミング (全市場・時価総額ベース)

- 時価総額ベースでは、英文資料の日本語資料との同時開示の割合は、決算短信の76.4%が最も高く、招集通知（通知本文・参考書類）の70.5%、IR説明会資料の68.0%、適時開示資料の65.3%が続いた
- 同日中の開示の割合は、より適時性が求められる決算短信及び適時開示資料の割合が相対的に高く、それぞれ83.7%、78.9%であった



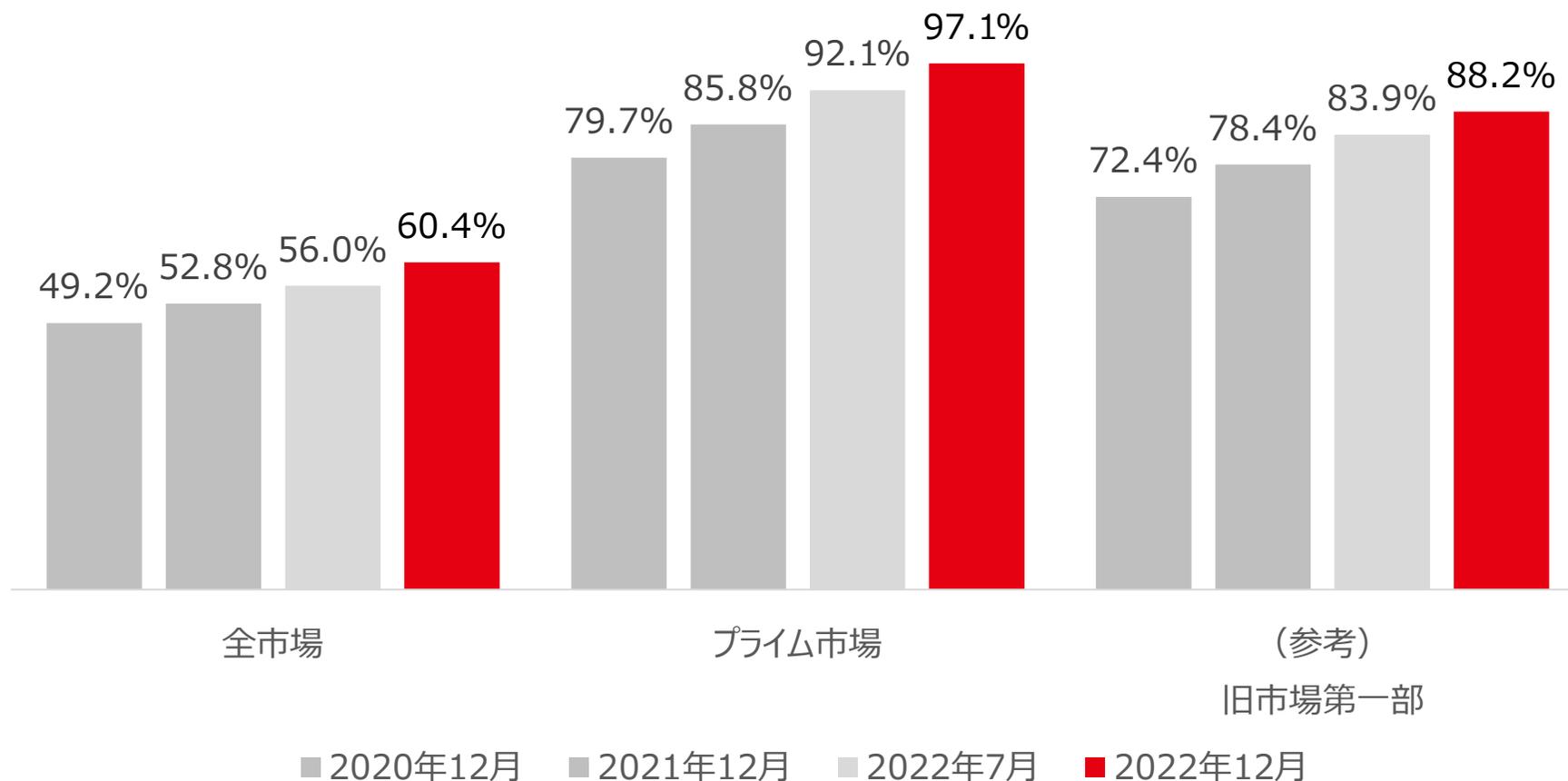
▶ 英文開示タイミングに関する分析はSection 4参照
英文開示タイミングの推移はSection 5参照

Section 2: 英文開示実施率の推移

英文開示実施率の推移（英文開示実施率）

- 英文開示を実施している上場会社の割合は全市場では60.4%（前年末比+7.6ポイント）、プライム市場では97.1%（同+11.3ポイント）
- プライム市場上場会社を中心に、新市場区分への移行を契機として英文開示を実施する会社が増加

英文開示実施率（社数ベース）

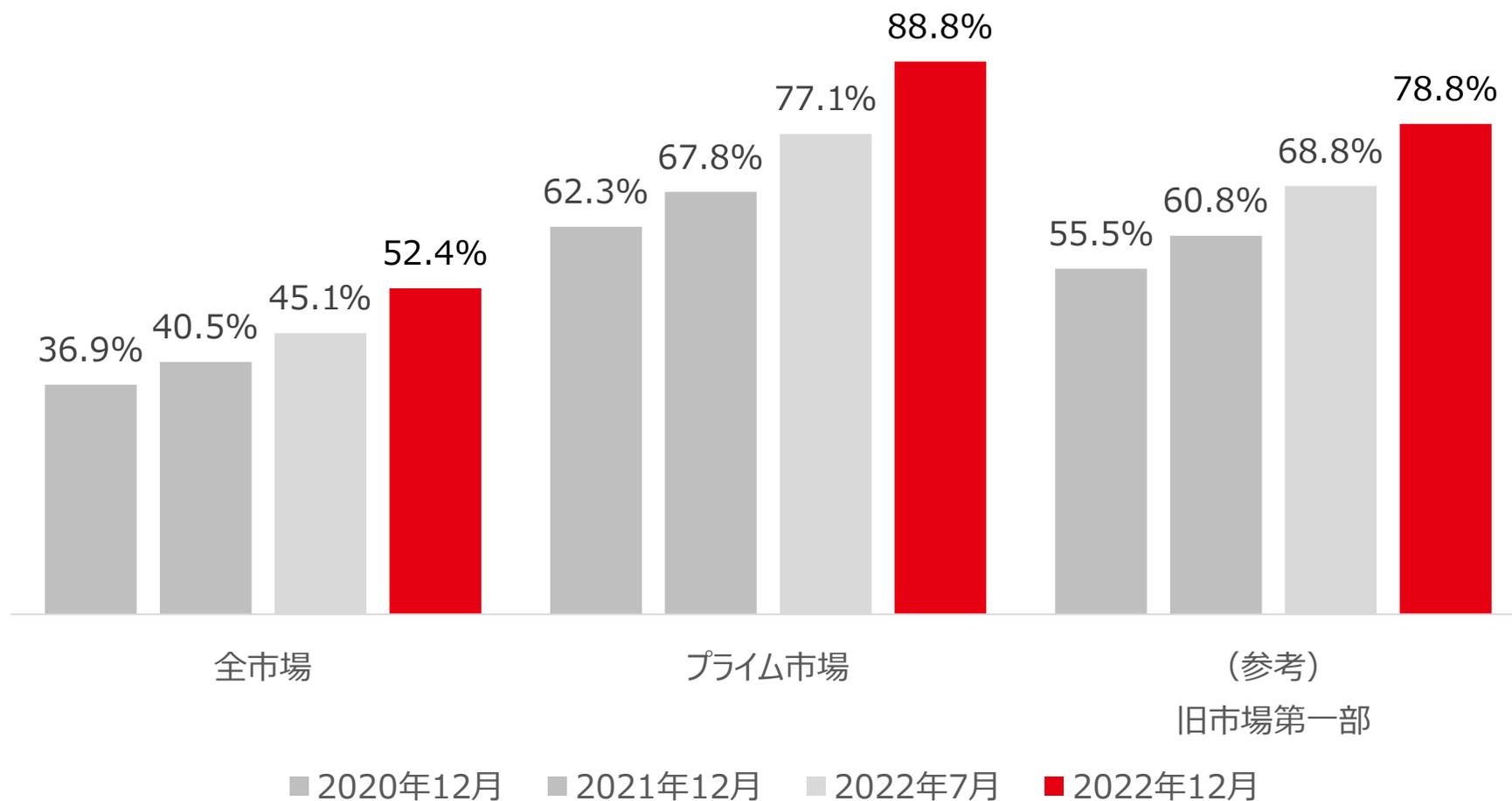


注：「旧市場一部」の「2022年7月」の割合は、2022年4月3日時点で市場第一部に上場していた会社を対象として英文開示実施率を算出。以降のスライドも同様。

英文開示実施率の推移（決算短信）

- 決算短信の英文開示実施率は、全市場では52.4%（前年末比+11.9ポイント）、プライム市場では88.8%（同+21.0ポイント）と上昇

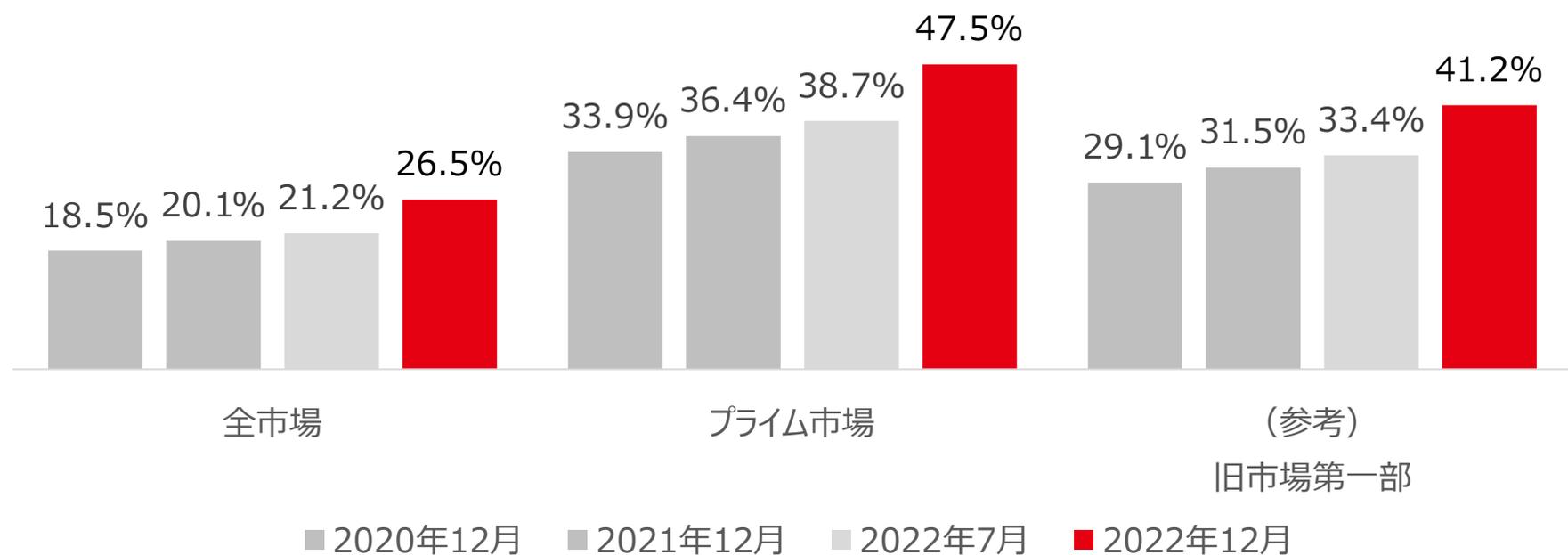
決算短信 英文開示実施率（社数ベース）



英文開示実施率の推移（適時開示資料）

- その他の適時開示資料の英文開示実施率は、全市場では26.5%（前年末比+6.4ポイント）、プライム市場では47.5%（同+11.1ポイント）と上昇

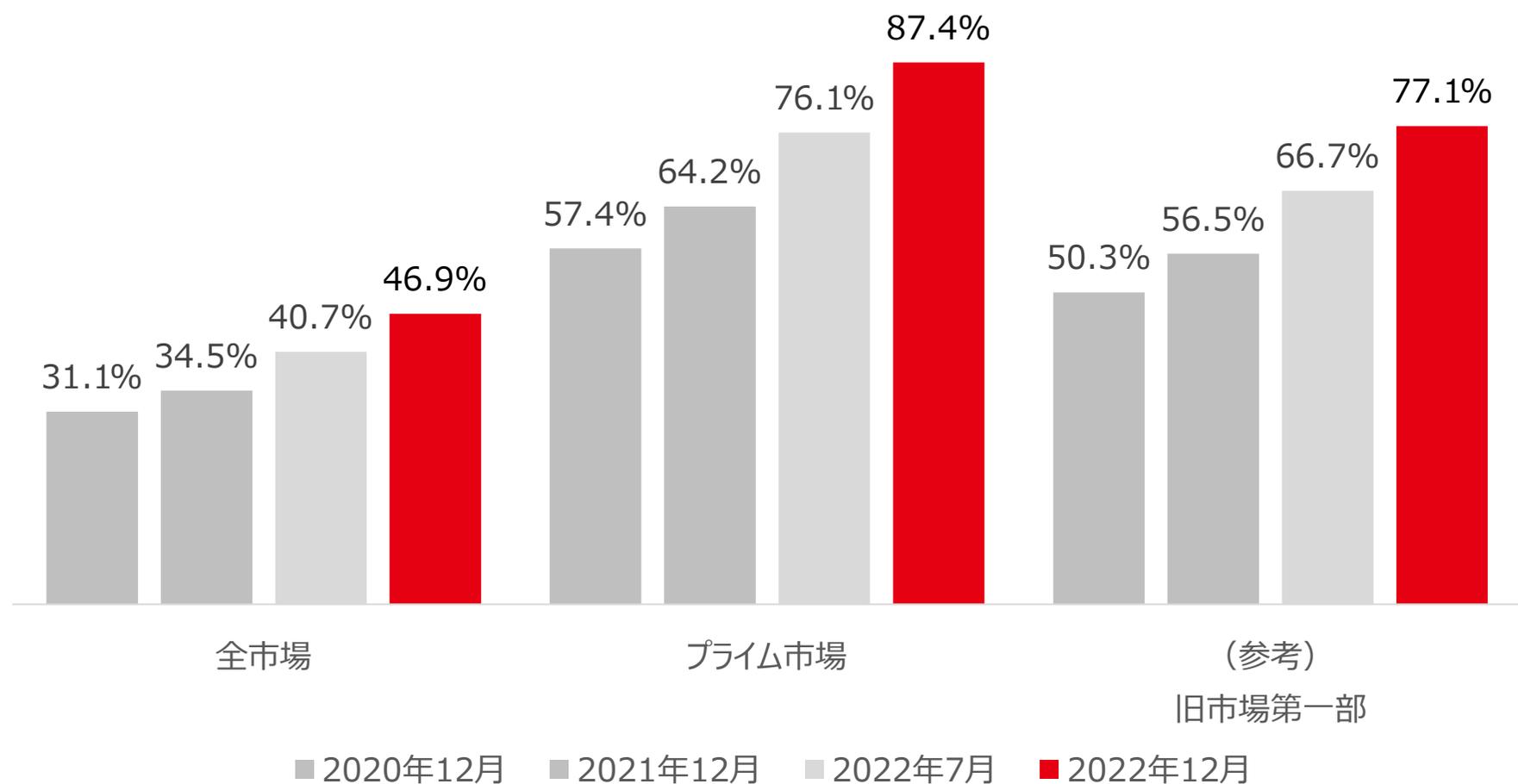
適時開示資料（決算短信除く） 英文開示実施率（社数ベース）



英文開示実施率の推移（招集通知）

- 招集通知（通知本文・参考書類）の英文開示実施率は、全市場では46.9%（前年末比+12.4ポイント）、プライム市場では87.4%（同+23.2ポイント）と上昇

株主総会招集通知 英文開示実施率（社数ベース）



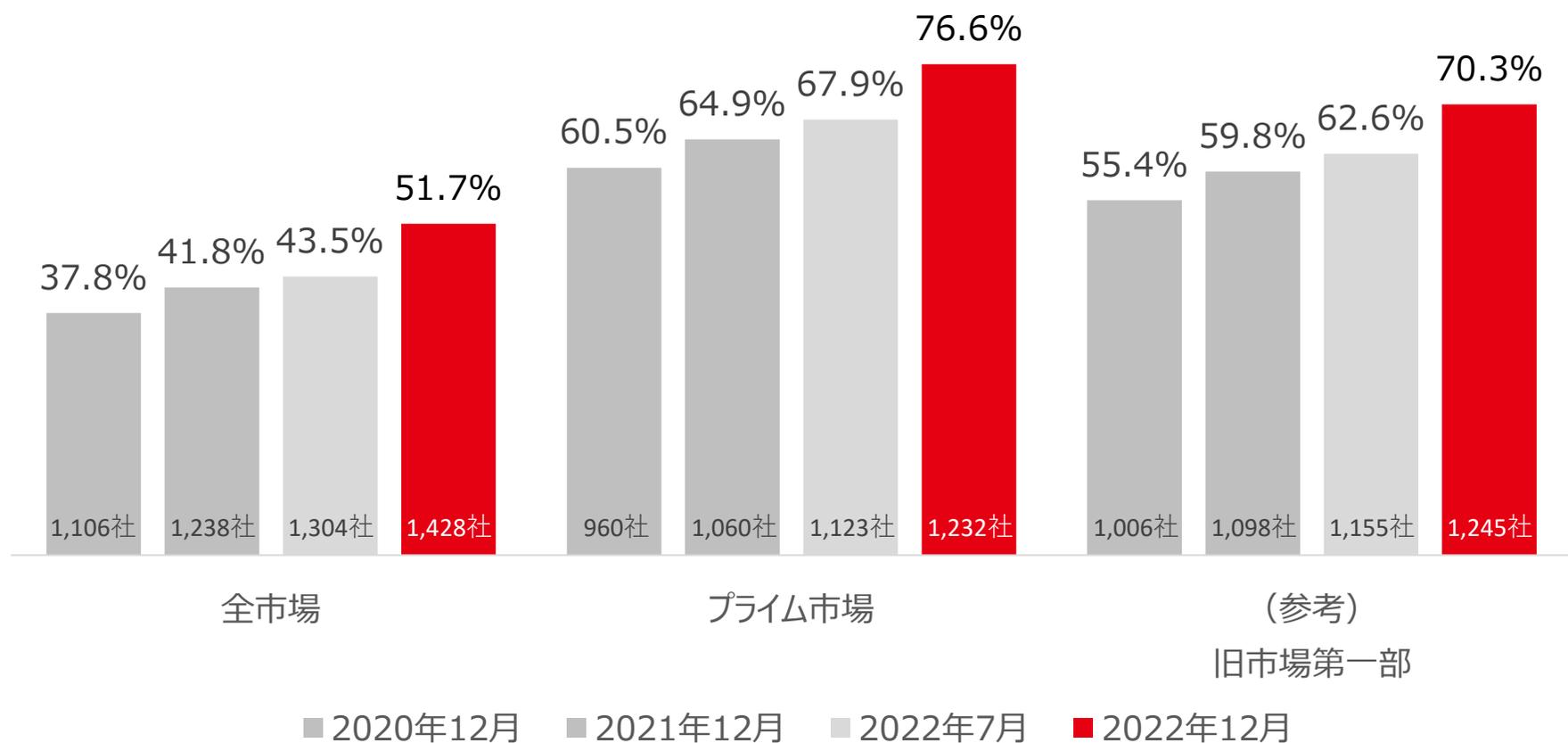
注： 1 招集通知（通知本文・参考書類）の英文開示実施率。

2 コーポレートガバナンス・コード（補充原則1-2④前段）において「上場会社は、自社の株主における機関投資家や海外投資家の比率等も踏まえ、議決権の電子行使を可能とするための環境作り（議決権電子行使プラットフォームの利用等）や招集通知の英訳を進めるべきである。」とされている。

英文開示実施率の推移（IR説明会資料）

- IR説明会資料の英文開示実施率は、全市場では51.7%（前年末比+9.9ポイント）、プライム市場では76.6%（同+11.7ポイント）と上昇

IR説明会資料 英文開示実施率（社数ベース）

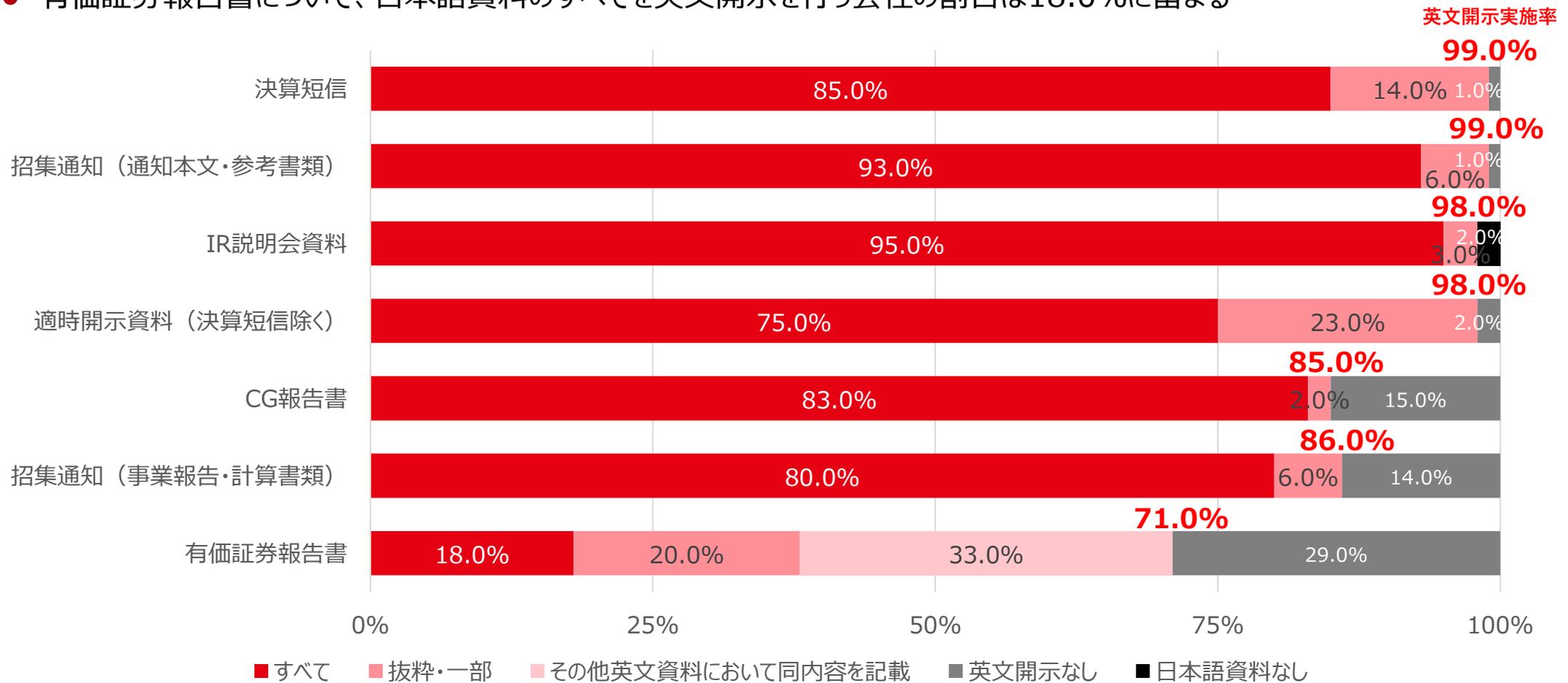


注：本スライドのIR説明会資料の英文開示実施率は、日本語資料を開示していないと回答した会社を分母から除いて計算。

Section 3: 英文開示範圍

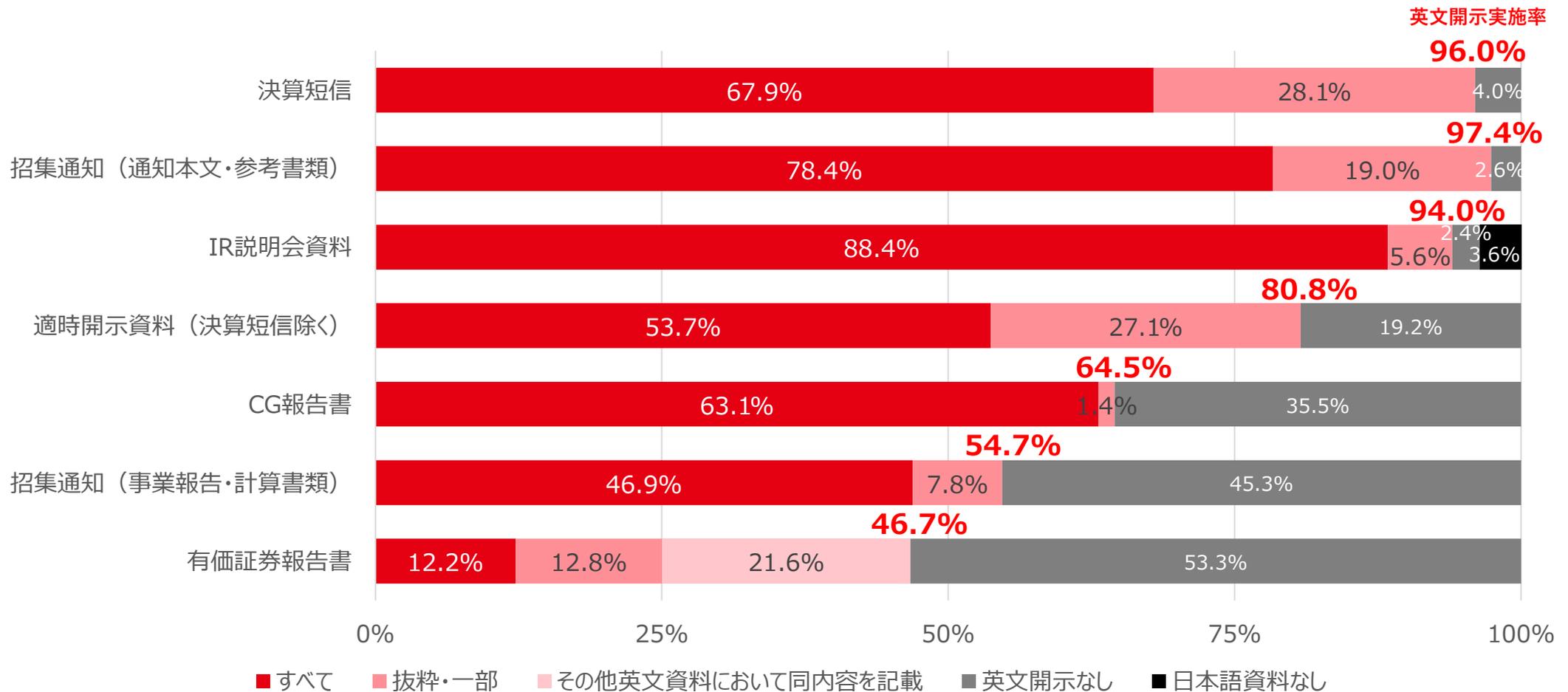
大型株の英文開示範囲 (TOPIX100・社数ベース)

- TOPIX100の95%超の会社が決算短信、招集通知（通知本文・参考書類）、IR説明会資料、適時開示資料の英文開示を実施
- 英文開示の範囲については、IR説明会資料、招集通知（通知本文・参考書類）では日本語資料のすべてを英文開示している会社が9割超となっている一方、決算短信、適時開示資料では、抜粋・一部がそれぞれ14.0%、23.0%を占める
- 有価証券報告書について、日本語資料のすべてを英文開示を行う会社の割合は18.0%に留まる



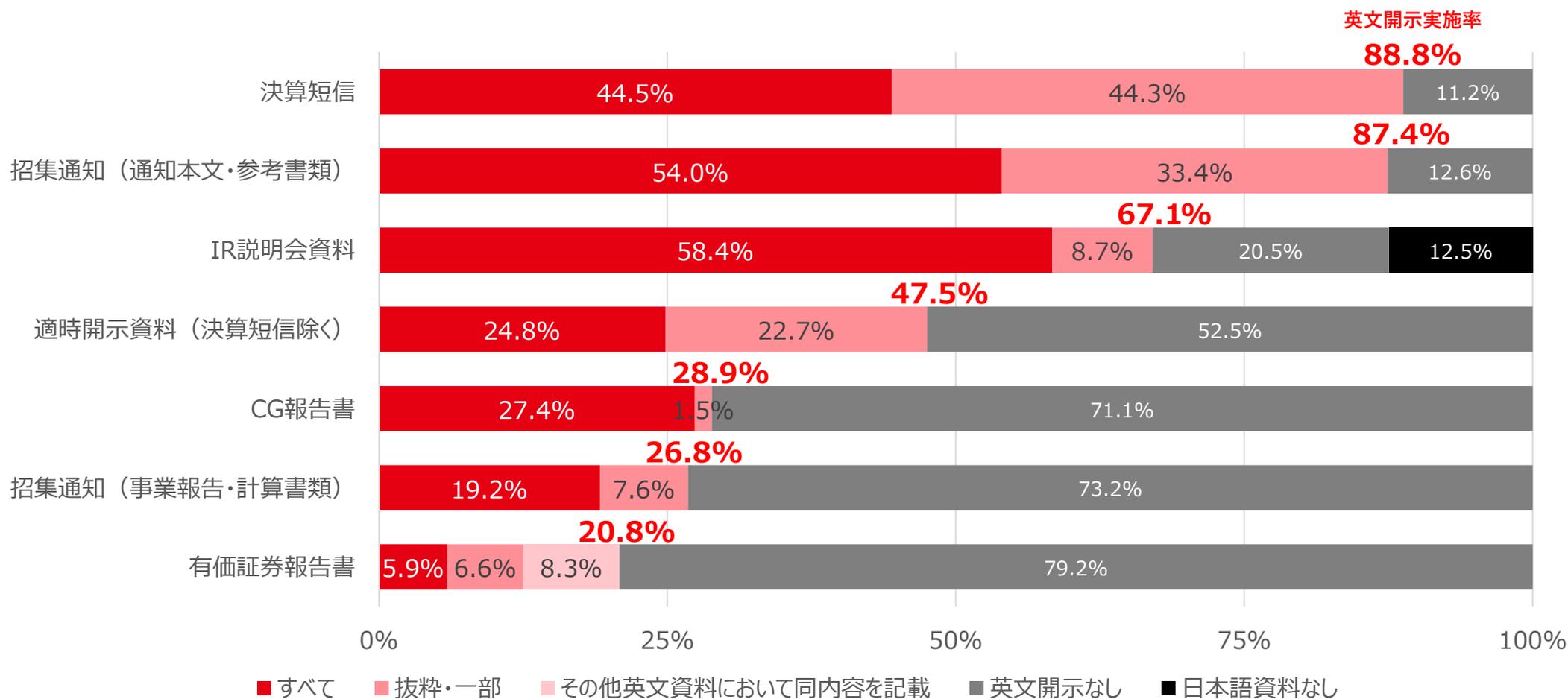
大型株・中型株の英文開示範囲 (TOPIX500・社数ベース)

- TOPIX500の9割超の会社が、決算短信、招集通知（通知本文・参考書類）、IR説明会資料の英文開示を実施
- 英文開示の範囲については、IR説明会資料では日本語資料のすべてを英文開示している会社の割合が88.4%を占める一方で、決算短信、適時開示資料では、抜粋・一部がそれぞれ28.1%、27.1%を占める
- 有価証券報告書について、日本語資料のすべてを英文開示を行う会社の割合は12.2%に留まる



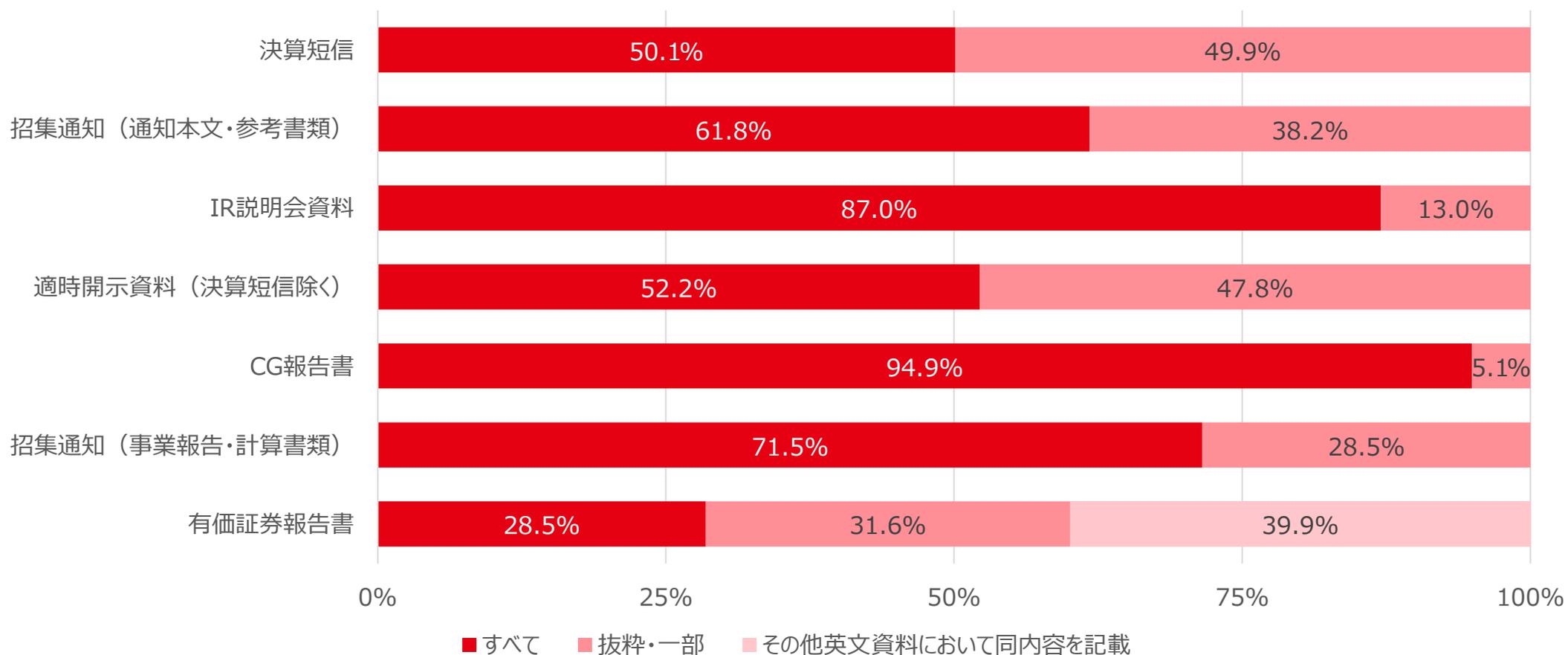
プライム市場上場会社の英文開示範囲（社数ベース）

- プライム市場の社数ベースの英文開示実施率は、決算短信が88.8%、招集通知（通知本文・参考書類）が87.4%と8割を超えたが、英文開示の範囲は、日本語資料のすべてを英文開示している割合が、それぞれ44.5%、54.0%に留まる
- 有価証券報告書については統合報告書等のその他英文資料で同内容を記載している会社を含めても20.8%に留まる
- 日本語資料のすべてを英文開示している割合は、IR説明会資料が最も高く58.4%であった



プライム市場上場会社の英文開示範囲比率（社数ベース）

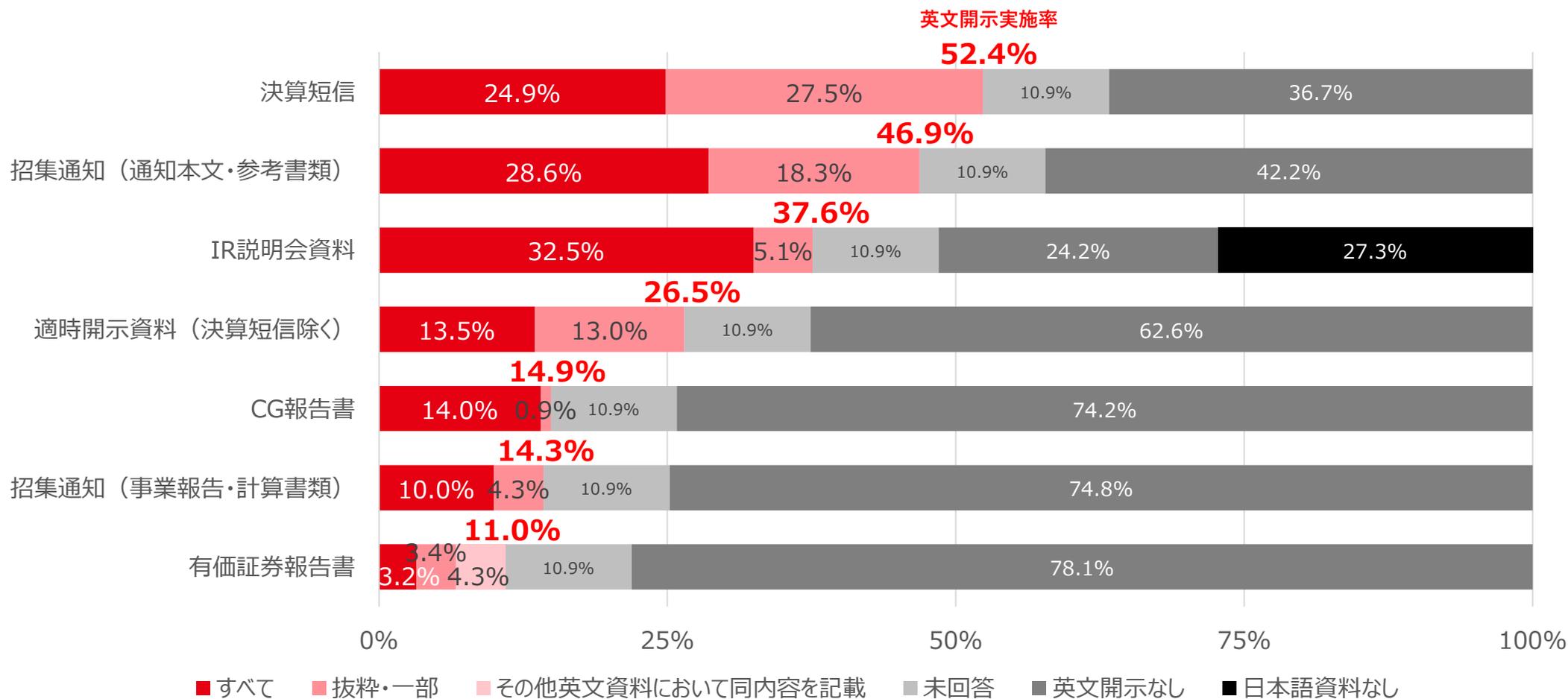
- プライム市場において、英文開示を行っている会社のうち、日本語資料のすべてを英文開示している割合は、CG報告書の94.9%と最も高く、IR説明会資料の87.0%、招集通知（事業報告・計算書類）の71.5%、招集通知（通知本文・参考書類）の61.8%が続いた
- 決算短信及び適時開示資料については、日本語資料のすべてを英文開示している割合は約半数に留まった



注：英文開示を実施していると回答した会社を母数として割合を算出。

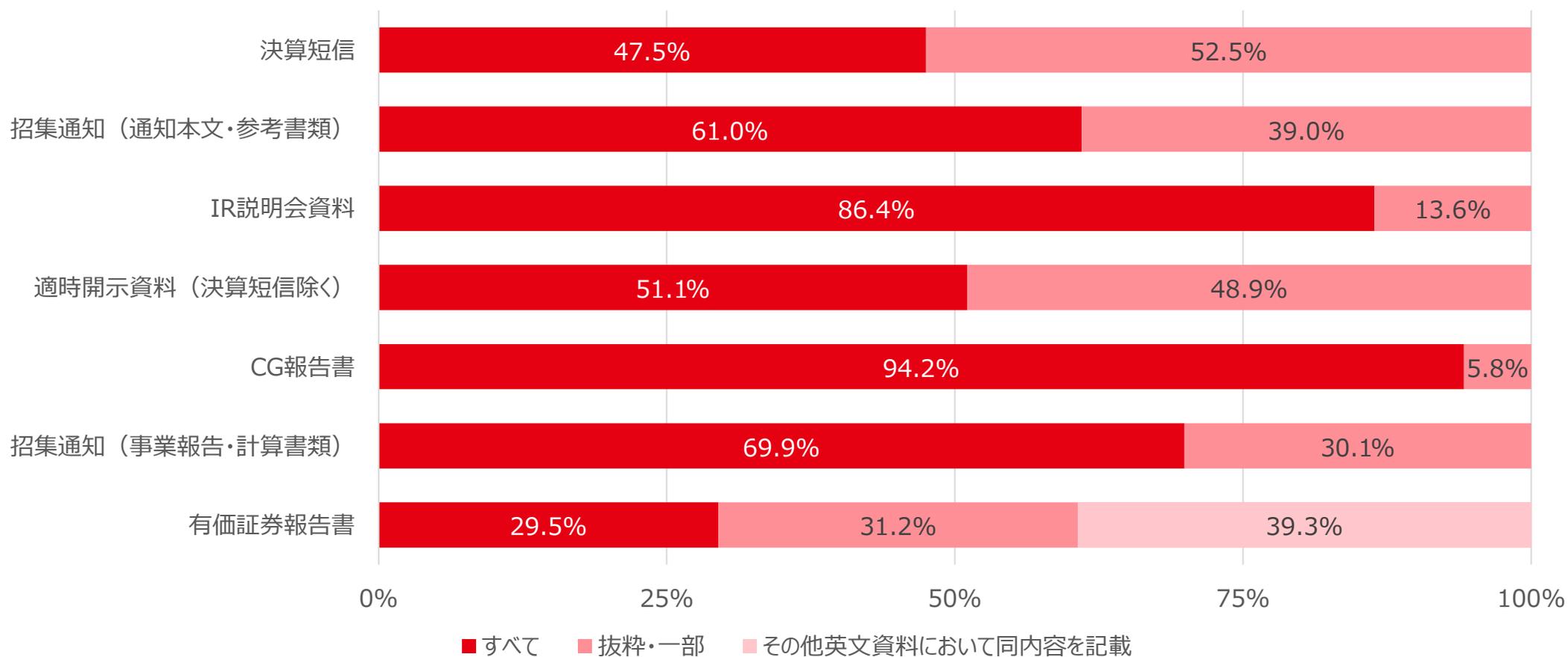
英文開示範囲（全市場・社数ベース）

- 全市場の社数ベースの英文開示実施率は、決算短信が52.4%、招集通知（通知本文・参考書類）が46.9%となったが、英文開示の範囲は、日本語資料のすべてを英文開示している割合は、それぞれ24.9%、28.6%に留まる
- 有価証券報告書については統合報告書等のその他英文資料で同内容を記載している会社を含めても11.0%に留まる
- 日本語資料のすべてを英文開示している割合は、IR説明会資料が最も高く32.5%であった



英文開示範囲比率（全市場・社数ベース）

- 全市場で、英文開示を行っている会社のうち、日本語資料のすべてを英文開示している割合は、CG報告書の94.2%と最も高く、IR説明会資料の86.4%、招集通知（事業報告・計算書類）の69.9%、招集通知（通知本文・参考書類）の61.0%が続いた
- 決算短信及び有価証券報告書については、日本語資料のすべてを英文開示している割合は半数未満となった

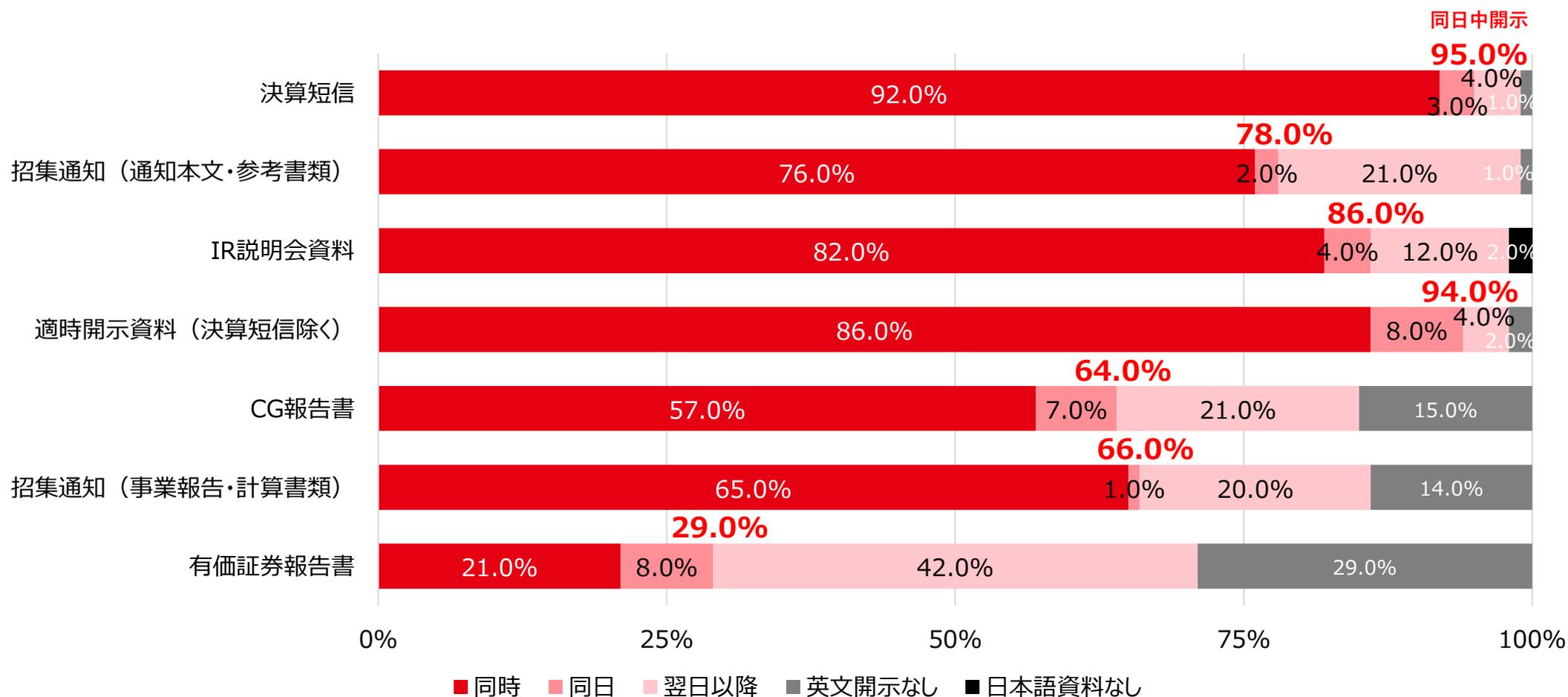


注：英文開示を実施していると回答した会社を母数として割合を算出。

Section 4: 英文開示タイミング

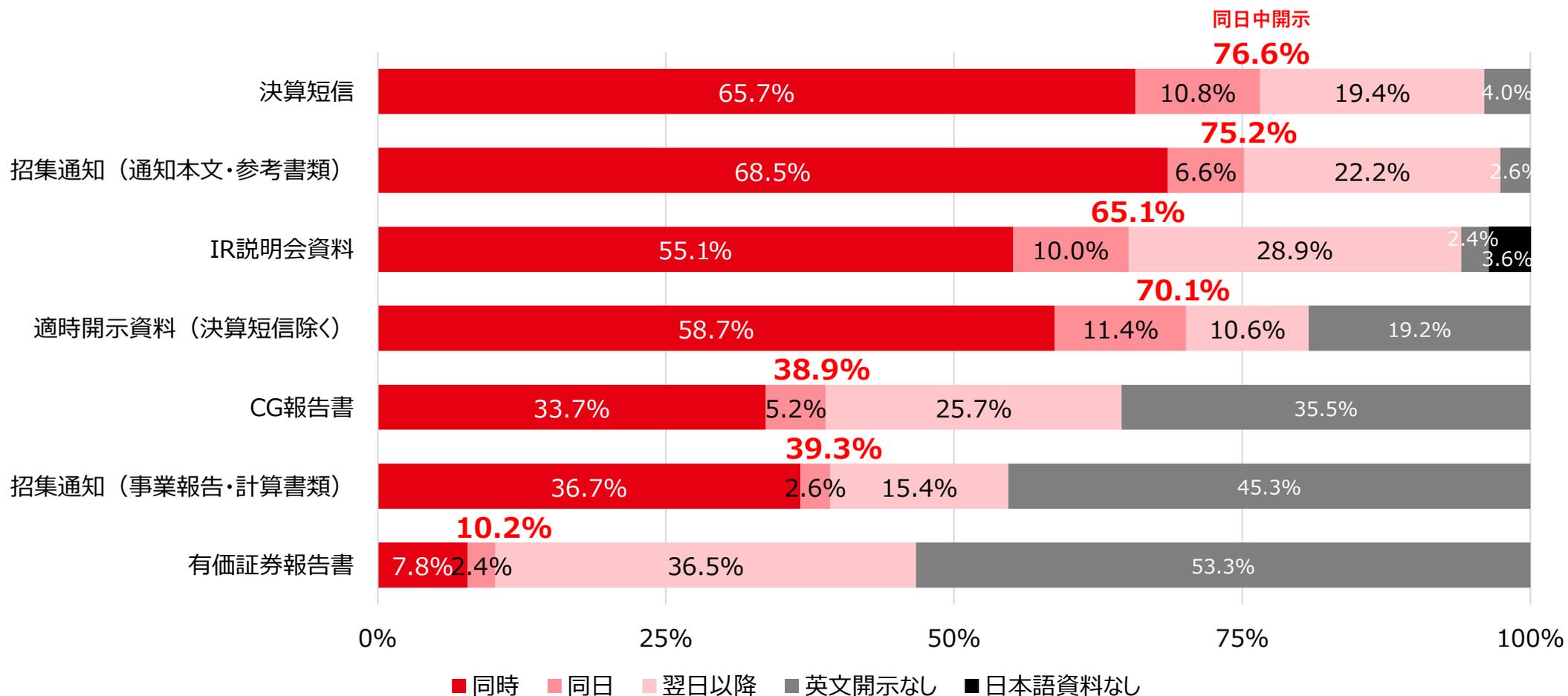
大型株の英文開示タイミング (TOPIX100・社数ベース)

- TOPIX100において、英文資料の日本語資料との同時開示の割合は、決算短信の92.0%が最も高く、適時開示資料の86.0%、IR説明会資料の82.0%、招集通知（通知本文・参考書類）の76.0%が続いた
- 同日中の開示の割合は、より適時性が求められる決算短信及び適時開示資料の割合が相対的に高く、それぞれ95.0%、94.0%であった



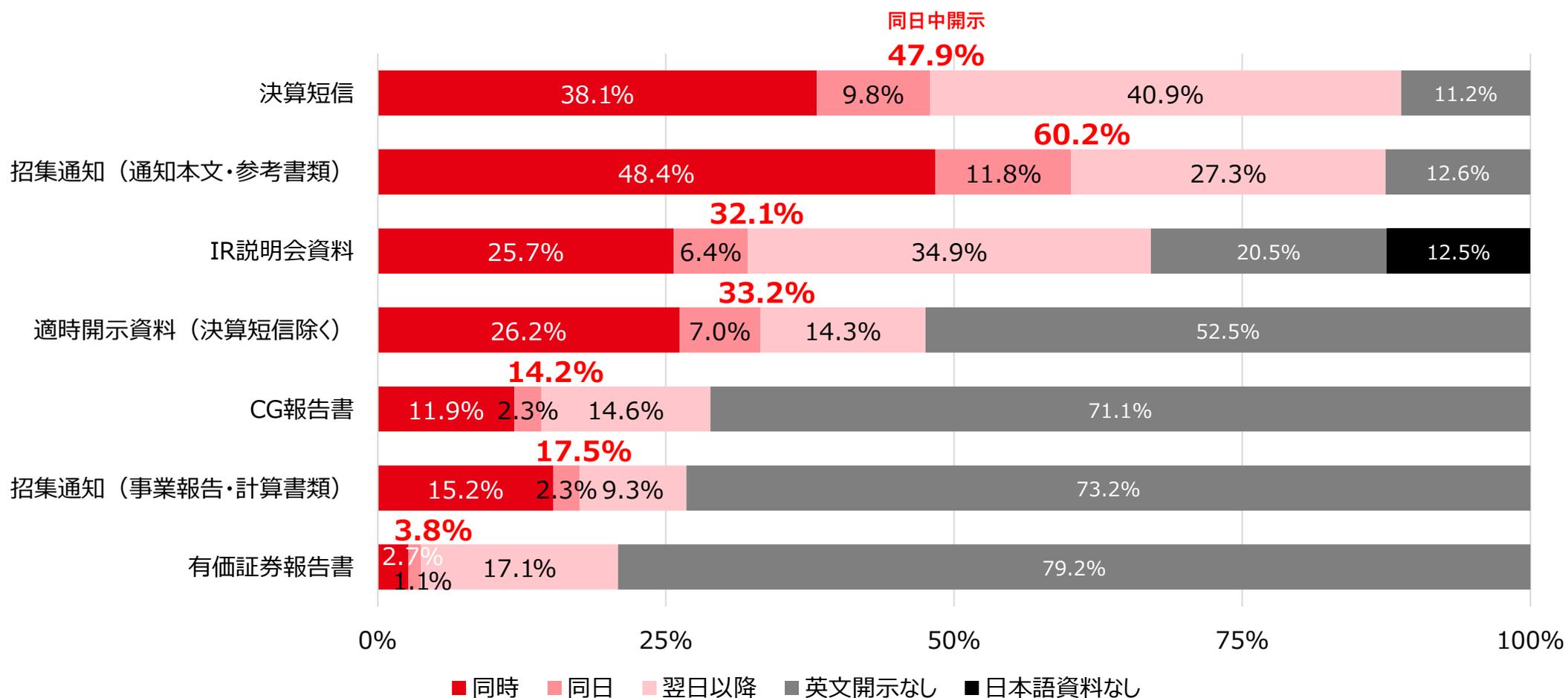
大型株・中型株の英文開示タイミング (TOPIX500・社数ベース)

- TOPIX500において、英文資料の日本語資料との同時開示の割合は、招集通知（通知本文・参考書類）の68.5%が最も高く、決算短信の65.7%が続いた
- 決算短信及びIR説明会資料の英文開示実施率はそれぞれ96.0%、94.0%と、大型株との比較で大きな差はみられないが、同時開示の割合は65.7%、55.1%と大型株との比較で26.3pt、26.9pt低く、開示タイミングには傾向の違いが見られた



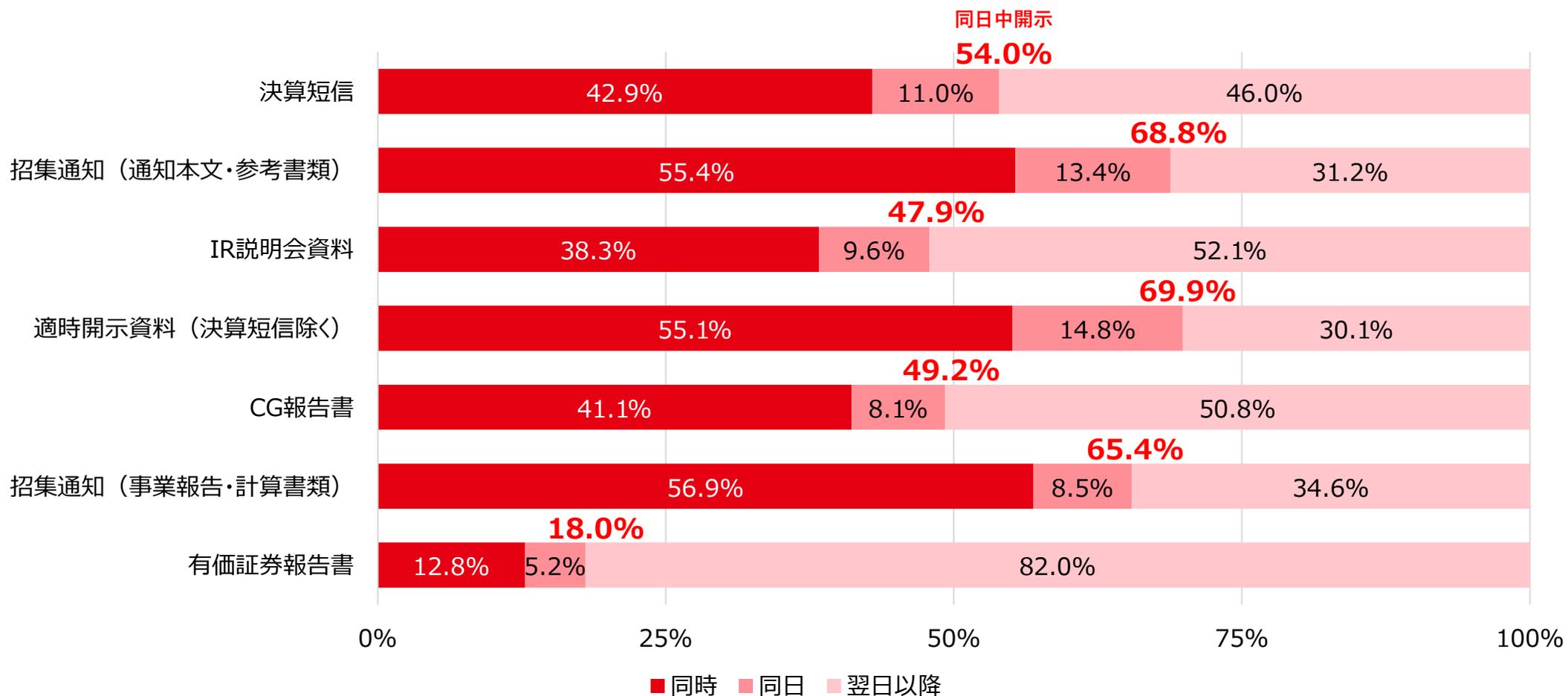
プライム市場上場会社の英文開示タイミング (社数ベース)

- プライム市場において、英文資料の日本語資料との同時開示の割合は、招集通知（通知本文・参考書類）の48.4%が最も高く、決算短信の38.1%、適時開示資料の26.2%、IR説明会資料の25.7%が続いた
- 有価証券報告書の同時開示の割合は2.7%に留まった



プライム市場上場会社の英文開示タイミング比率（社数ベース）

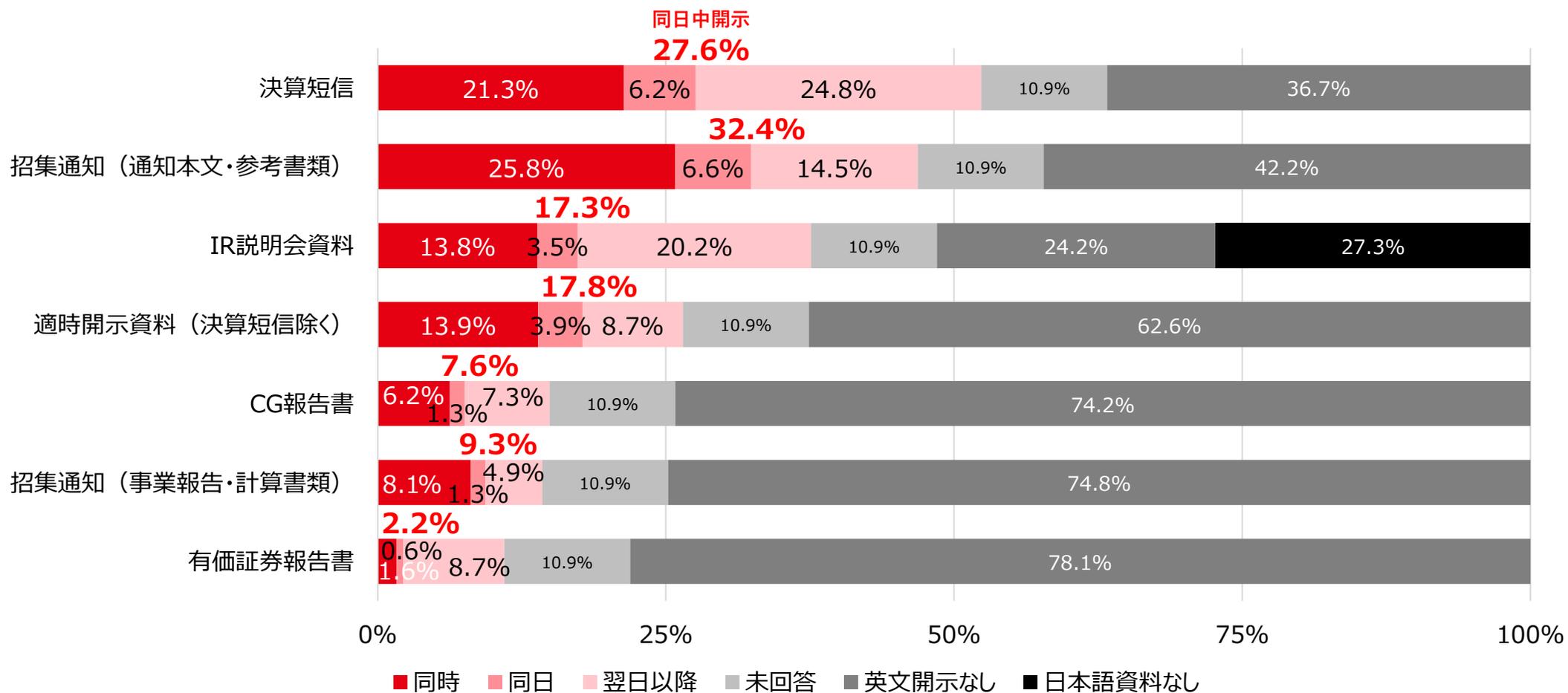
- プライム市場において、英文開示を行っている会社のうち、日本語資料の開示と同時又は同日に英文開示を行う上場会社の割合は、適時開示書類、招集通知（通知本文・参考書類）、招集通知（事業報告・参考書類）については65%超となった一方、決算短信、IR説明会資料、CG報告書については約半数
- 有価証券報告書の同日中の開示割合は18.0%に留まっており、80%超が翌日以降の開示となっている



注：英文開示を実施していると回答した会社を母数として割合を算出。

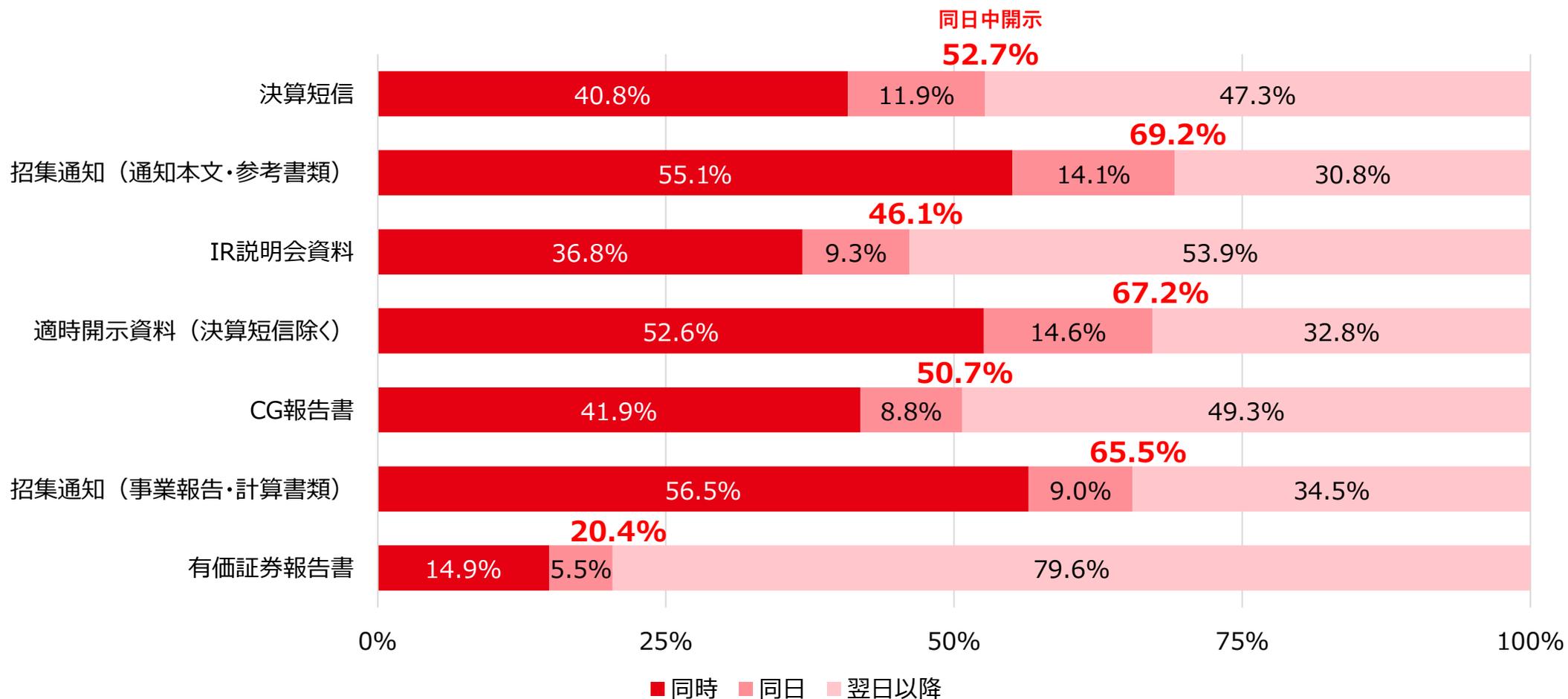
英文開示タイミング (全市場・社数ベース)

- 全市場について、英文資料の日本語資料との同時開示の割合は、招集通知（通知本文・参考書類）の25.8%が最も高く、決算短信の21.3%、適時開示資料の13.9%、IR説明会資料の13.8%が続いた
- 有価証券報告書の同時開示の割合は1.6%に留まった



英文開示タイミング比率 (全市場・社数ベース)

- 全市場について、英文開示を行っている会社のうち、日本語資料の開示と同時又は同日に英文開示を行う上場会社の割合は、招集通知（通知本文・参考書類）、適時開示書類、招集通知（事業報告・参考書類）については65%超となった一方、決算短信、IR説明会資料、CG報告書については約半数
- 有価証券報告書の同日中の開示割合は20.4%に留まっており、約80%が翌日以降の開示となっている



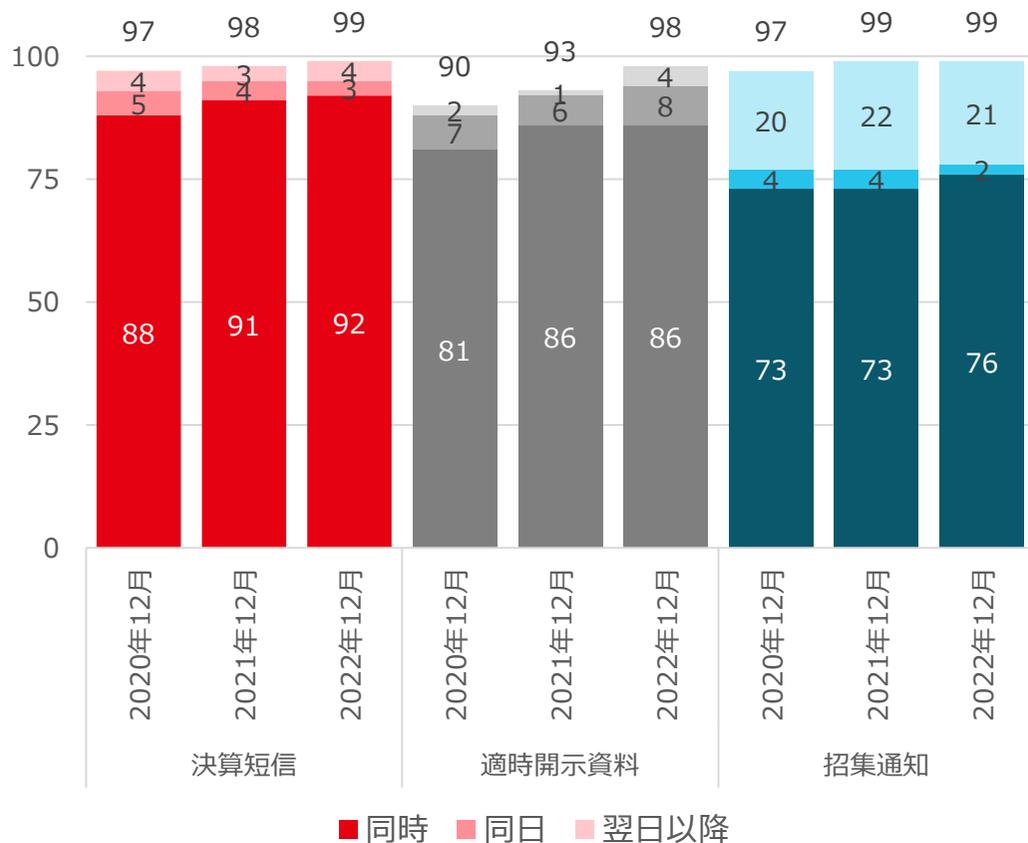
注： 英文開示を実施していると回答した会社を母数として割合を算出。

Section 5: 英文開示タイミング推移

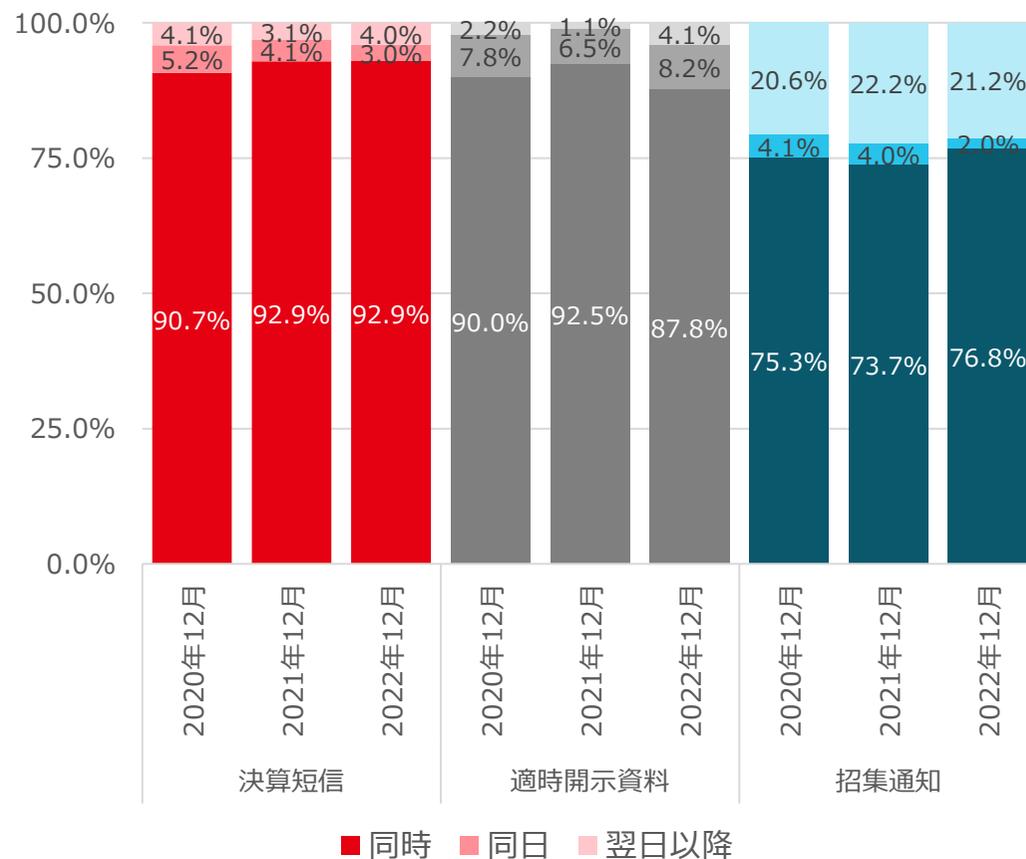
大型株の英文開示タイミング推移 (TOPIX100・社数ベース)

- TOPIX100において、2020年12月末との比較では、決算短信、適時開示資料、招集通知（通知本文・参考書類）の3つのすべての資料で、英文開示社数及び同時開示社数が増加
- 英文開示を行っている会社のうち日本語資料の開示と同時又は同日に英文開示を行う上場会社の割合は、決算短信及び適時開示資料については、翌日以降に英文開示を行う会社の増加により前年末から低下

英文開示実施社数の推移 (英文開示タイミング別)



英文開示タイミング別の割合の推移¹

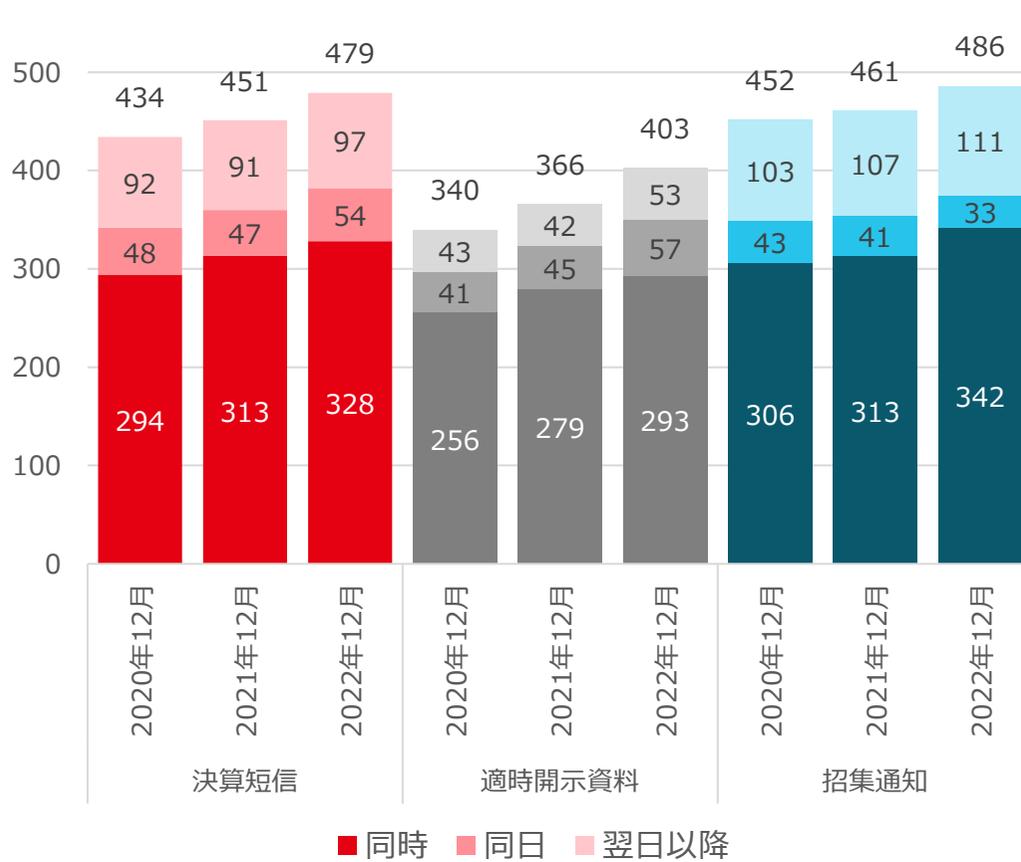


注： 1 英文開示を実施していると回答した会社を母数として割合を算出。以降のスライドも同様。

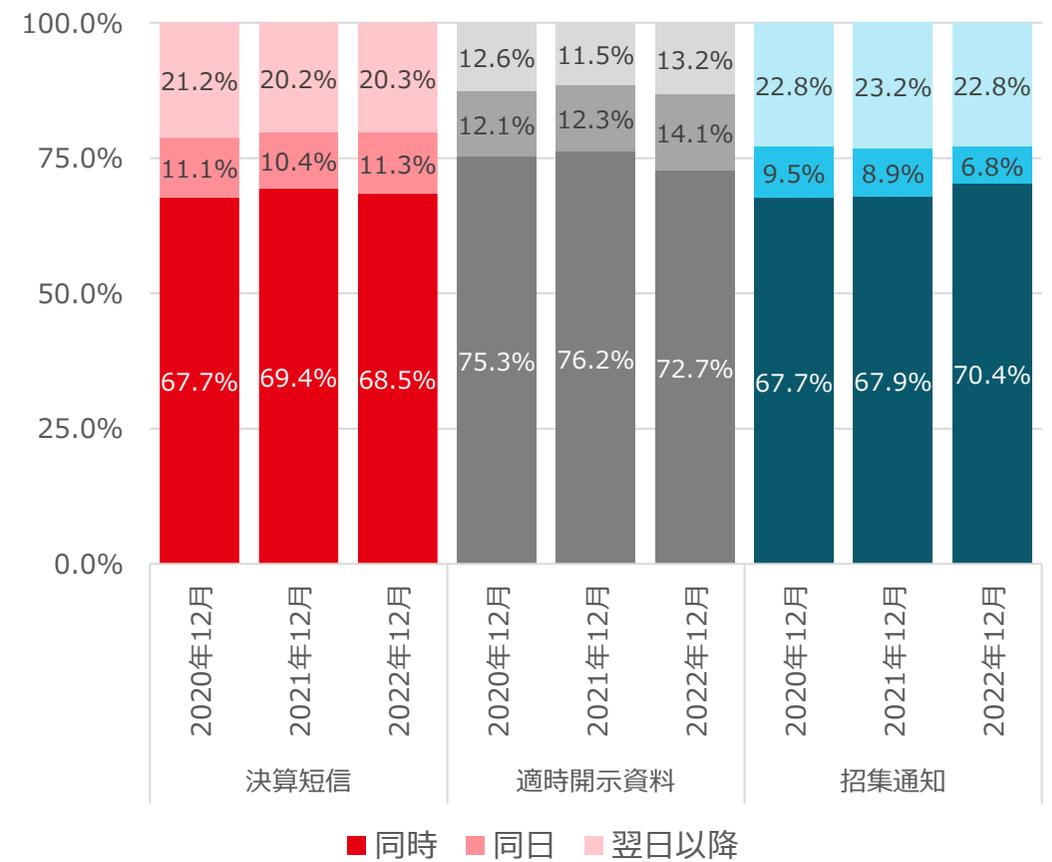
大型株・中型株の英文開示タイミング推移 (TOPIX500・社数ベース)

- TOPIX500において、決算短信、適時開示資料、招集通知（通知本文・参考書類）の3つのすべての資料で、継続的に日本語資料の開示と同時に開示を行う会社が増加
- 英文開示を行っている会社のうち日本語資料の開示と同時又は同日に英文開示を行う上場会社の割合は、決算短信及び適時開示資料については、翌日以降に英文開示を行う会社の増加により前年末から低下

英文開示実施社数の推移 (英文開示タイミング別)



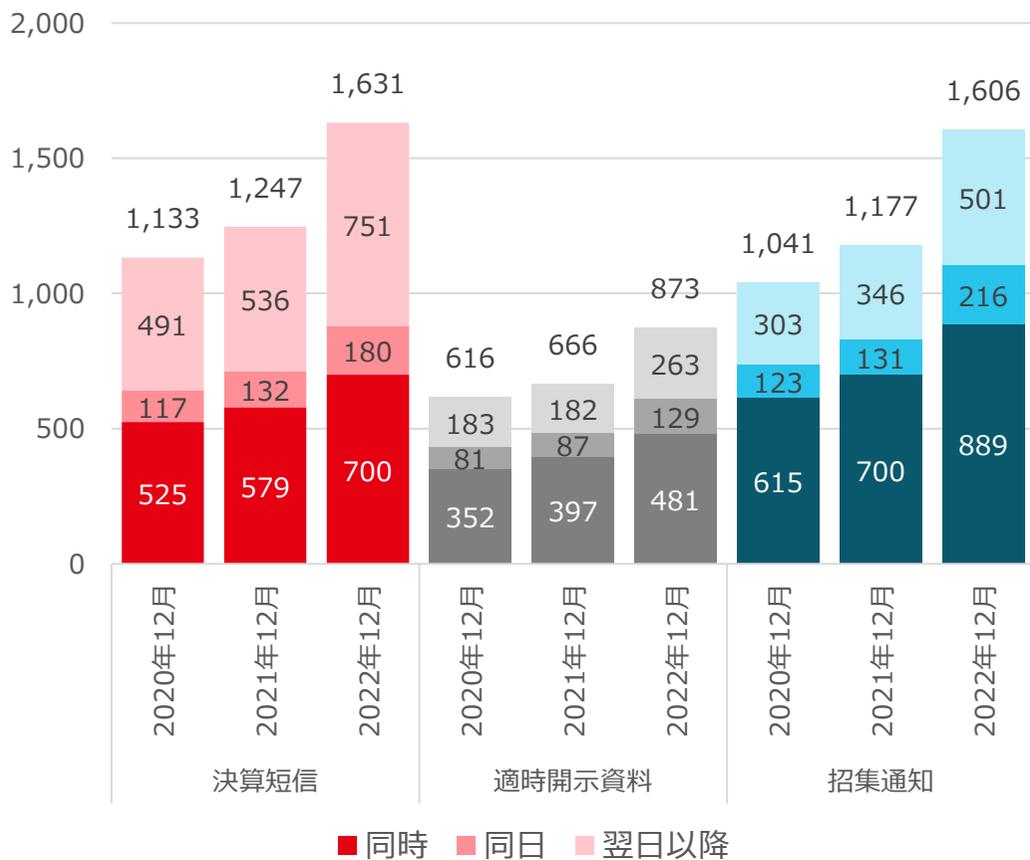
英文開示タイミング別の割合の推移



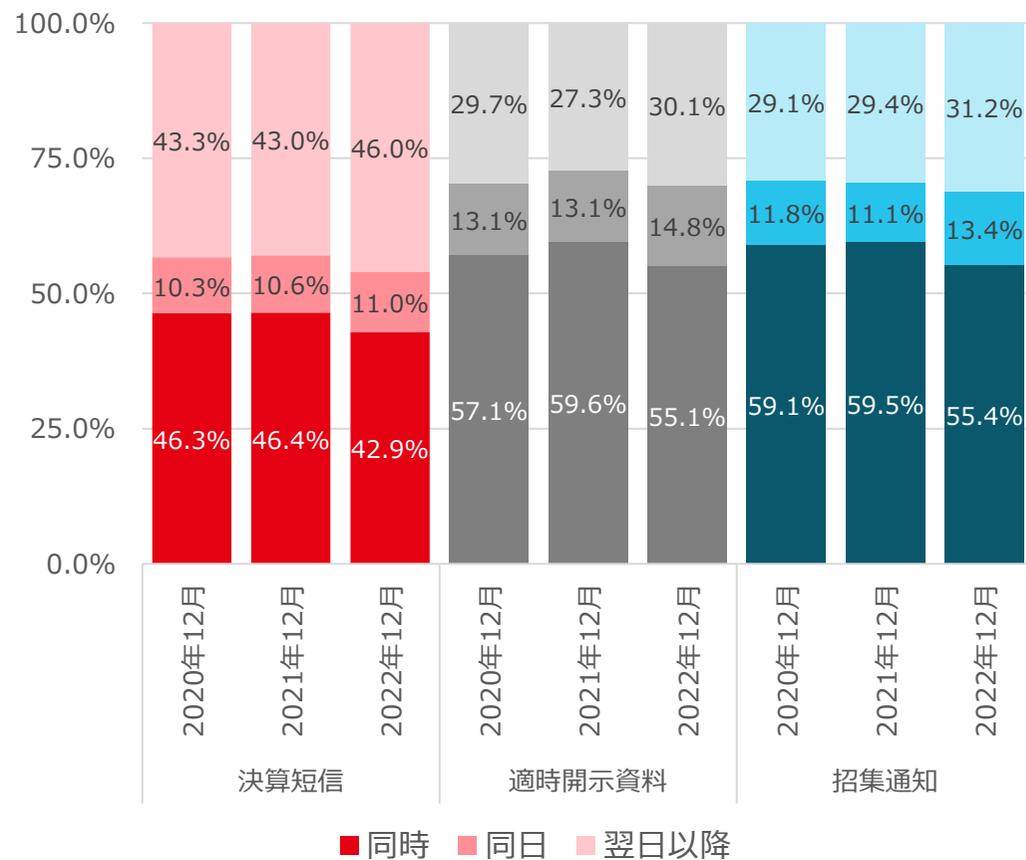
プライム市場上場会社の英文開示タイミング推移（社数ベース）

- プライム市場において、決算短信、適時開示資料、招集通知（通知本文・参考書類）の3つのすべての資料で、継続的に日本語資料の開示と同時に開示を行う会社が増加
- 英文開示を行っている会社のうち日本語資料の開示と同時又は同日に英文開示を行う上場会社の割合は、翌日以降に英文開示を行う会社の増加により、3つの資料すべてで前年末から低下

英文開示実施社数の推移（英文開示タイミング別）



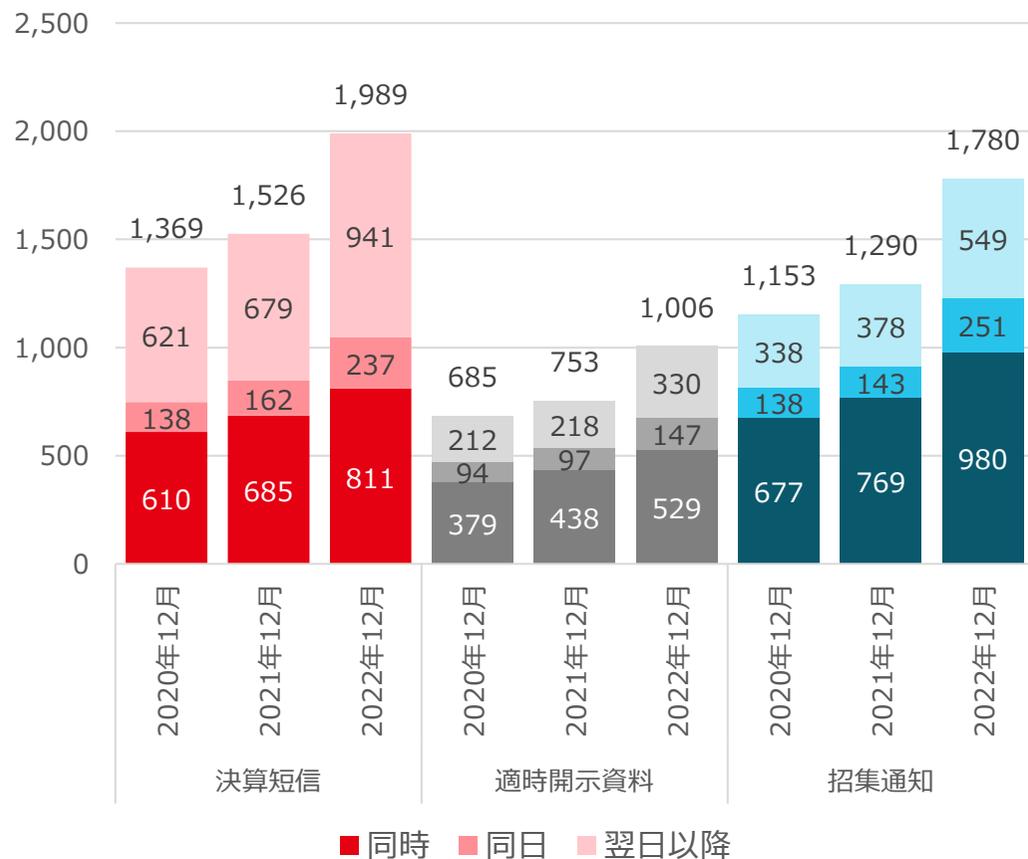
英文開示タイミング別の割合の推移



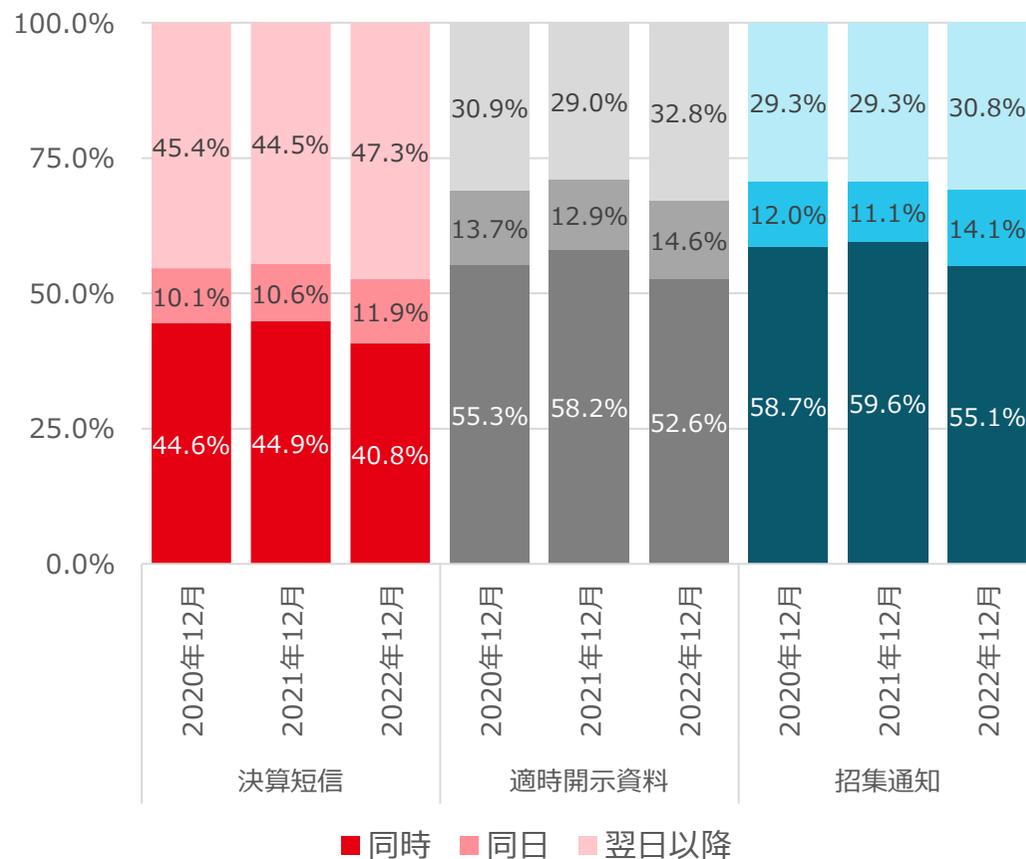
英文開示タイミング推移 (全市場・社数ベース)

- 全市場について、決算短信、適時開示資料、招集通知（通知本文・参考書類）の3つのすべての資料で、継続的に日本語資料の開示と同時に開示を行う会社が増加
- 英文開示を行っている会社のうち日本語資料の開示と同時又は同日に英文開示を行う上場会社の割合は、翌日以降に英文開示を行う会社の増加により、3つのすべての資料で前年末から低下

英文開示実施社数の推移 (英文開示タイミング別)



英文開示タイミング別の割合の推移



Appendix 1: 市場区分別集計データ

英文開示実施社数（2022年12月）

市場区分	時価総額 (兆円)	社数 (社)	適時開示資料			株主総会招集通知		IR説明会資料	CG報告書	有価証券 報告書	英文開示 実施社数
			決算短信	その他	通知本文	事業報告					
プライム市場	683.2	1,837	856	1,631	873	1,606	492	1,232	530	383	1,783
スタンダード市場	22.0	1,449	59	231	63	137	31	88	20	20	347
グロース市場	7.0	513	62	127	70	37	19	108	16	14	163
全市場	712.2	3,799	977	1,989	1,006	1,780	542	1,428	566	417	2,293

英文開示実施率（2022年12月・社数ベース）

市場区分	時価総額 (兆円)	社数 (社)	適時開示資料			株主総会招集通知		IR説明会資料	CG報告書	有価証券 報告書	英文開示 実施率
			決算短信	その他	通知本文	事業報告					
プライム市場	683.2	1,837	46.6%	88.8%	47.5%	87.4%	26.8%	67.1%	28.9%	20.8%	97.1%
スタンダード市場	22.0	1,449	4.1%	15.9%	4.3%	9.5%	2.1%	6.1%	1.4%	1.4%	23.9%
グロース市場	7.0	513	12.1%	24.8%	13.6%	7.2%	3.7%	21.1%	3.1%	2.7%	31.8%
全市場	712.2	3,799	25.7%	52.4%	26.5%	46.9%	14.3%	37.6%	14.9%	11.0%	60.4%

注：適時開示資料の英文開示社数は、決算短信及びその他の適時開示資料の両方の英文開示を行っているとは回答した社数。以降のスライドも同様。

英文開示実施率（2022年12月・時価総額ベース）

市場区分	時価総額 (兆円)	社数 (社)	適時開示資料			株主総会招集通知		IR説明会資料	CG報告書	有価証券 報告書	英文開示 実施率
			決算短信	その他	通知本文	事業報告					
プライム市場	683.2	1,837	87.3%	97.7%	87.8%	97.8%	71.4%	91.9%	73.2%	61.3%	99.8%
スタンダード市場	22.0	1,449	16.9%	39.2%	19.8%	31.5%	15.7%	31.3%	17.1%	15.4%	51.7%
グロース市場	7.0	513	37.7%	52.9%	39.8%	29.1%	10.1%	43.0%	13.4%	16.4%	60.0%
全市場	712.2	3,799	84.6%	95.4%	85.2%	95.1%	69.0%	89.5%	70.9%	59.4%	97.9%

Appendix 2: 指数区分別集計データ

指数区分別・英文開示実施率

英文開示実施社数（2022年12月）

指数区分	時価総額 (兆円)	社数 (社)	適時開示資料			株主総会招集通知		IR説明会資料	CG報告書	有価証券 報告書	英文開示 実施社数
			決算短信	その他	通知本文	事業報告					
JPX日経インデックス400	538.0	400	317	385	321	383	220	367	254	179	396
TOPIX500（大型株・中型株）	612.2	499	396	479	403	486	273	469	322	233	499
TOPIX100（大型株）	406.0	100	97	99	98	99	86	98	85	71	100
TOPIX Mid400（中型株）	206.2	399	299	380	305	387	187	371	237	162	399
TOPIX Small（小型株）	77.7	1,664	471	1,223	485	1,185	228	784	216	157	1,409
Small500	49.8	500	249	456	255	453	106	364	127	90	494
Small（非TOPIX1000）	27.9	1,164	222	767	230	732	122	420	89	67	915

英文開示実施率（2022年12月・社数ベース）

指数区分	時価総額 (兆円)	社数 (社)	適時開示資料			株主総会招集通知		IR説明会資料	CG報告書	有価証券 報告書	英文開示 実施率
			決算短信	その他	通知本文	事業報告					
JPX日経インデックス400	538.0	400	79.3%	96.3%	80.3%	95.8%	55.0%	91.8%	63.5%	44.8%	99.0%
TOPIX500（大型株・中型株）	612.2	499	79.4%	96.0%	80.8%	97.4%	54.7%	94.0%	64.5%	46.7%	100.0%
TOPIX100（大型株）	406.0	100	97.0%	99.0%	98.0%	99.0%	86.0%	98.0%	85.0%	71.0%	100.0%
TOPIX Mid400（中型株）	206.2	399	74.9%	95.2%	76.4%	97.0%	46.9%	93.0%	59.4%	40.6%	100.0%
TOPIX Small（小型株）	77.7	1,664	28.3%	73.5%	29.1%	71.2%	13.7%	47.1%	13.0%	9.4%	84.7%
Small500	49.8	500	49.8%	91.2%	51.0%	90.6%	21.2%	72.8%	25.4%	18.0%	98.8%
Small（非TOPIX1000）	27.9	1,164	19.1%	65.9%	19.8%	62.9%	10.5%	36.1%	7.6%	5.8%	78.6%

英文開示実施率（2022年12月・時価総額ベース）

指数区分	時価総額 (兆円)	社数 (社)	適時開示資料			株主総会招集通知		IR説明会資料	CG報告書	有価証券 報告書	英文開示 実施率
			決算短信	その他	通知本文	事業報告					
JPX日経インデックス400	538.0	400	93.1%	98.8%	93.7%	98.5%	79.8%	94.6%	79.3%	70.1%	99.8%
TOPIX500（大型株・中型株）	612.2	499	92.3%	98.6%	92.9%	98.9%	77.6%	95.0%	79.4%	66.9%	100.0%
TOPIX100（大型株）	406.0	100	98.8%	99.7%	99.0%	99.4%	88.7%	96.5%	86.9%	77.2%	100.0%
TOPIX Mid400（中型株）	206.2	399	79.6%	96.3%	80.8%	98.0%	55.7%	92.1%	64.6%	46.8%	100.0%
TOPIX Small（小型株）	77.7	1,664	41.0%	85.9%	41.9%	85.4%	18.7%	62.8%	21.6%	14.6%	95.2%
Small500	49.8	500	50.9%	92.0%	51.9%	90.6%	20.9%	73.4%	27.8%	17.9%	99.1%
Small（非TOPIX1000）	27.9	1,164	23.4%	75.0%	24.0%	76.1%	14.7%	43.8%	10.5%	8.5%	88.1%

Appendix 3: 外国人持株比率別集計データ

外国人持株比率別・英文開示実施率

英文開示実施率（2022年12月・社数ベース）

外国人持株比率	時価総額 (兆円)	社数 (社)	適時開示資料			株主総会招集通知		IR説明会資料	CG報告書	有価証券 報告書	英文開示 実施率
				決算短信	その他	通知本文	事業報告				
30%以上	330.8	339	73.5%	86.7%	74.3%	85.3%	50.7%	79.9%	52.8%	33.6%	90.6%
20%～30%未満	197.7	426	59.2%	86.6%	60.8%	84.5%	34.3%	76.5%	37.3%	28.2%	92.7%
10%～20%未満	114.4	735	35.4%	76.2%	35.6%	73.9%	17.8%	57.1%	19.5%	16.3%	86.1%
10%未満	46.9	2,179	9.6%	34.3%	10.4%	26.4%	4.0%	18.1%	3.8%	2.7%	42.8%

注：外国人持株比率は2022年3月末現在。2022年3月末時点のデータのない120社は集計対象から除外。